

事業年度	令和4年度
工事種別	改修工事（建築工事）
工事番号	地域工-2

工事名 平牧地区センター外部改修工事

◎注意事項

この内訳書の工事項目及び数量は、積算する上での参考資料です。
積算の際は、設計図面にて工事項目及び数量を拾い出し積算して下さい。

可児市

市民部

地域振興課

当初 設計書

工事番号	地域工-2	工事箇所	可児市 二野 地内	施設名	平牧地区センター	
工事名	平牧地区センター外部改修工事					
理 由			工 事 概 要			
当該建物の外壁部分は、建築基準法第12条に基づく定期報告の対象となっている。本工事は、次回報告に合わせて外壁等の調査及び改修を実施するもの。			平牧地区センター 構造:鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 建設年度:昭和62年頃 建築改修工事(防水改修工事、屋根改修工事、外壁改修工事、塗装・外装改修工事、解体・撤去工事)			
金 額		円		内消費税相当額		円
特 記 仕 様 書						
1. 一般事項 (1) 受注者は、工事請負契約書、可児市建設工事共通仕様書及び特記仕様書に基づき施工するものとする。なお、特記仕様書は共通仕様書に優先する。 (2) 受注者は、本工事が「可児市工事品質証明実施要領」の対象となる場合、要領に基づき品質の証明を実施しなければならない。 (3) 提出・提示書類は別添「可児市建設工事における取扱い書類一覧表」に基づき実施するものとする。また、工事打合簿(指示、協議、承諾は除く)、材料確認簿、夜間・休日作業届けの書類を提出する場合は、別添様式に基づき、電子メールにて提出するものとし、書面には署名または押印する必要はないものとする。これらに定めのない事項については、監督員と協議する。 2. 建設副産物有効利用及び適正処理について (1) 受注者は、建設副産物を排出するにあたっては、建設リサイクル法を遵守するとともに、「岐阜県建設副産物有効利用及び適正処理実施要綱」により、適切に実施すること。 (2) 建設発生土については、工事間流用とし、流用先は監督員が指示する。都合により工事間流用ができなくなった場合は、別途協議する。また受注者の都合により処分場を変更する時は監督員に報告するものとする。なお、「岐阜県埋立て等の規制に関する条例」及び「岐阜県建設発生土管理基準」に基づき適正な利用の推進を図ること。 3. 使用材料 (1) 生コンクリートについて 本工事に使用するコンクリートの水セメント比は、鉄筋コンクリート(24N/mm²以上)については55%以下、無筋コンクリート及び鉄筋コンクリート(21N/mm²以下)については60%以下、均しコンクリートについては60%程度とし、品質を証明する書類を提出して、事前に監督員の許可を得ること。 4. 工事施工について (1) 受注者は、工事着手に先立ち、現場付近の地元住民等に対する周知、説明、説得等を行い、トラブルの生じないように努めること。 (2) 工事による既設構造物の破損については、未然に防止するよう予め十分調査をし、また、支障を及ぼさないよう相当の防護工を施工しなければならない。なお、誤って損傷を与えた場合は、請負人の責任において復旧しなければならない。調査に際しては、記録保存の必要を認めた場合は写真撮影、測量等を行わなければならない。 5. 工事保険について 本工事において、発注者、受注者及び全下請人を被保険者として、工事着手から工事目的物の引渡しまでの期間について、賠償責任保険(保険対象:第三者に与えた損害)及び工事保険(保険対象:工事目的物、工事材料及び仮設物等)に加入するものとする。 6. ワンデーレスポンスの取組について (1) この工事は、ワンデーレスポンス実施対象工事です。 「ワンデーレスポンス」とは受注者からの質問、協議、報告、承諾願、立会願等への回答は、基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することです。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。 (2) 実施にあたっては、可児市工事監督におけるワンデーレスポンス実施要領に基づき実施する。 (3) 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合や計画工程と実施行程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督員へ報告すること。 (4) 受注者は、施工計画書に基づいて適正な計画工程を作成し、工事の先々を予見しながら、施工するものとする。						

7. 電子納品について
「岐阜県電子納品要領」等に基づき、電子納品を行うこと。なお、電子納品の内容については、監督員と事前に協議し、決定すること。
8. 暴力団等による不当介入における通報義務について
(1) 受注者は、契約の履行に当たって、暴力団又は暴力団員等から、事実関係及び社会通念等に照らして合理的な理由が認められない不当若しくは違法な要求又は契約の適正な履行を妨げる妨害を受けたときは、警察へ通報するとともに、可児市が行う契約からの暴力団排除に関する措置要綱(平成22年可児市訓令甲第47号)に定める様式第9号により可児市に報告しなければならない。なお、通報・報告がない場合は、可児市建設工事請負契約に係る指名停止措置要領に基づき、指名停止等の措置を行うことがある。
(2) 受注者は、暴力団又は暴力団員等による不当介入を受けたことにより、履行期間内に工事等を完了することができないときは、発注者に履行期間の延長変更を請求することができる。
9. 現場代理人の兼務について
現場代理人は、工事請負契約約款第10条第2項の規定により、契約工期内の現場常駐が義務付けられているが、契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間や、工事の全部の施工を一時中止している期間については、監督員との連絡体制を確保した上で、常駐義務を緩和するものとする。
また、以下の条件を全て満たす場合に、他工事の現場代理人又は専任でない主任技術者を兼務することができる。
 1. 他工事は、可児市発注の建設工事で、工事現場が市内であること。
 2. 他工事においても、本工事と同様に現場代理人の兼務を認めていること。
 3. 兼務を行う工事の総数が、本工事を含めて3件までであること。
 4. 兼務を行う工事の請負代金額の合計が3,500万円未満であること。
 5. 発注者又は監督員が求めた場合には、工事現場に速やかに向かう等の対応ができること。

なお、工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がある場合、及び、発注者との連絡体制が確保されていないと監督員の認めた場合は、兼務を取り消すものとする。
現場代理人が兼務となった場合は、本工事の監督員及び他工事の監督員の双方に、現場代理人兼務届を提出しなければならない。
10. 可児市公共基準点の保全について
公共施工区域内に可児市公共基準点が設置してある場合は、基準点鈿を滅失・き損または、その効用に支障をきたすことのないよう充分に留意すること。施工上止むを得ず支障となる場合は、事前に監督員に報告すること。
11. 法定外の労災保険の付保
本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
12. 建築物・工作物等の解体・改修工事に伴うアスベスト調査について
工事規模、請負金額にかかわらず事前にアスベストの使用の有無の事前調査を行うこと。
また、一定規模以上の工事は、事前調査結果を岐阜県に報告すること。
13. その他
 - ・国土交通省大臣官房庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書(建築・電気設備・機械設備工事編) 最新版
 - ・国土交通省大臣官房庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書(建築・電気設備・機械設備工事編) 最新版

その他図面特記仕様書による。

記号	工 事 名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	平牧地区センター外部改修工事						
A	建築工事		1.0	式			
I	直接工事費 計		1.0	式			
II	共通仮設費	(共通仮設工事費積上分を含む)	1.0	式			
	純工事費 計						
III	現場管理費		1.0	式			
	工事原価 計						
IV	一般管理費等負担額		1.0	式			
	工事価格 計						
V	消費税相当額		1.0	式			
	総 合 計						

特記仕様書 (条件明示)

工事名 平牧地区センター外部改修工事

下記項目、事項のうちレ印該当欄は、工事施工にあたって制約等をうけることになるので明示する。
 なお、明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、市と協議し適切な処置を講ずるものとする。

施工条件

明示項目	明示事項	制約条件等
工 程	☐ 1. 関連する別途発注工事あり	☐ A. 工種 () ☐ B. 期間 (~)
	☐ 2. 他機関協議による工程条件あり	☐ A. 工種 () ☐ B. 期間 (~)
	☐ 3. 他機関との協議状況	☐ A. 協議済機関及び内容 () ☐ B. 未協議機関及び内容 ()
	☐ 4. 占用許可状況 ()	☐ A. 許可済 ☐ B. 申請中
	☐ 5. 建築確認	☐ A. 許可済 ☐ B. 申請中
	☐ 6. 河川区域、保全区域内作業あり	☐ A. 許可済 ☐ B. 申請中
	☐ 7. 文化財協議 (文化財課)	☐ A. 協議済内容 () ☐ B. 未協議内容 ()
	☒ 8. 施工時期	☒ A. 施工時期 (担当課と施設利用状況等の確認の上決定すること)
	☐ 9. その他	☐ A. その他 ()
用 地	☐ 1. 用地補償物件撤去まで着工制限あり	☐ A. 区間 (No. ~ No.) ☐ B. 着工見込時期 () ☐ C. 内容 ()
	☐ 2. 工事用地の未買収	☐ A. 場所 () ☐ B. 処理の見込み時期 () ☐ C. 未買収地への立ち入り可否 ()
	☒ 3. 仮設ヤードの有無	☐ A. 官有地 ☐ B. 民有地 ☐ C. その他 () ☒ D. 別途協議
	☐ 4. その他	☐ A. その他 ()
公 害 対 策	☐ 1. 施工方法の制限あり	☐ A. 騒音 () ☐ B. 振動 () ☐ C. 水質 () ☐ D. その他 ()
	☐ 2. 事業損失防止に関する調査あり	☐ A. 調査の項目 ()
	☐ 3. 環境影響調査あり	☐ A. 生物・植物調査あり
	☐ 4. 土壌汚染対策法に関する届出	☐ A. 届出済 (3,000㎡以上の土地の形質の変更、工事着手30日前まで)
	☒ 5. 石綿含有に関する事前調査	☒ A. 発注者による含有調査 (図面A-02 1共通事項 40参照) ☒ B. 受注者による含有調査 ☒ C. 調査結果の報告 (一定規模以上)
	☐ 6. その他	☐ A. フロン回収あり ☐ B. その他 ()
安 全 対 策	☐ 1. 交通規制あり	☐ A. 全面通行止め ☐ B. 片側通行止め ☐ C. 時間制限あり ()
	☐ 2. 通学路あり	☐ A. 迂回路あり ☐ B. 仮設歩道必要
	☒ 3. 交通整理員	☒ A. 区間 出入口 (大型車両搬出入時必要に応じて) ☐ B. 区間 (No. ~) 配置人員 人/日 ☐ C. 区間 (No. ~) 配置人員 人/日 ☐ D. 交替要員あり
	☐ 4. 鉄道等の近接作業制限あり	☐ A. 工法制限あり () ☐ B. 作業時間制限あり ()
	☐ 5. バス路線 (運行者との協議)	☐ A. 協議済内容 () ☐ B. 未協議内容 ()
	☐ 6. その他	☐ A. その他 ()
工 事 用 道 路	☐ 1. 一般道路 (搬入路) の使用制限	☐ A. 搬入経路指定あり ☐ B. 時間帯制限あり
	☐ 2. 仮設道路の設置条件あり	☐ A. 一般交通供用あり ☐ B. 安全施設必要 () ☐ C. 路面工 () ☐ D. 工事完了後存続又は撤去 () ☐ E. 構造 () ☐ F. 用地 (借地) ☐ G. 用地 (公用地) ☐ H. 用地 (その他)
	☐ 3. その他	☐ A. その他 ()
指 定 仮 設 備	☐ 1. 仮設物の指定又は一部指定あり	☐ A. 工種 ()
	☐ 2. 仮設構造物の転用、兼用あり	☐ A. 工種 () ☐ B. 内容 ()
	☐ 3. その他	☐ A. その他 ()

明示項目	明示事項		制約条件等	
建設発生土 建設（産業）廃棄物 関係	☐	1. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [場所が未確定]	☐ A. 運搬距離（ km ） ☐ B. 投棄料計上あり ☐ C. 整地（押土、敷均、締固等）必要 ☐ D. 整地（押土）必要	
	☐	2. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [自工事へ流用]	☐ A. 盛土、埋戻 ☐ B. スtockヤード利用あり（ ） ☐ C. 仮置場必要（ ） ☐ D. 運搬距離（ km ） ☐ E. 仮置場の用地借上費計上あり	
	☐	3. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [他工事へ流用、または処分地指定]	☐ A. 場所（ ） ☐ B. 盛土、埋戻 ☐ C. 整地（押土、敷き均し、転圧）あり ☐ D. スtockヤード利用あり（ ） ☐ E. 仮置場必要（ ） ☐ F. 運搬距離（ km ） ☐ G. 仮置場の用地借上費計上あり ☐ H. 処分料計上あり	
	☐	4. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [他工事からの流用]	☐ A. 他工事名（ ） ☐ B. 請負者運搬あり（運搬距離 km ） ☐ C. 盛土、埋め戻し ☐ D. スtockヤード利用あり（ ） ☐ E. 仮置場必要（ ） ☐ F. 仮置場の用地借上費計上あり	
	☐	5. 産業廃棄物の処理条件あり [特別管理産業廃棄物]	☐ A. 種類（ ） ☐ B. 場所（ ） ☐ C. 中間処理施設までの運搬距離（ km ） ☐ D. 処理費計上あり	
	☐	6. 浄化槽、汲み取り便槽の取壊し処分あり	☐ A. 槽内洗浄必要 ☐ B. 可児市環境課と打合せの必要あり	
	☒	7. 「岐阜県建設副産物有効利用及び適正処理実施要綱」に基づく提出・提示書類あり	☒ A. 産業廃棄物管理票（マニフェスト） ☐ B. 建設発生土管理状況書類及び処理地の関係図書 ☒ C. コブリス ☒ D. 廃棄物処理委託契約、許可書	
	工事支障物件	☐	1. 占用支障物件あり（電気）	☐ A. 移設時期（R 年 月頃） ☐ B. 移設時期（別途協議）
		☐	2. 占用支障物件あり（電話）	☐ A. 移設時期（R 年 月頃） ☐ B. 移設時期（別途協議）
		☐	3. 占用支障物件あり（水道）	☐ A. 移設時期（R 年 月頃） ☐ B. 移設時期（別途協議）
		☐	4. 占用支障物件あり（下水道）	☐ A. 移設時期（R 年 月頃） ☐ B. 移設時期（別途協議）
		☐	5. 占用支障物件あり（ガス）	☐ A. 移設時期（R 年 月頃） ☐ B. 移設時期（別途協議）
		☐	6. 占用支障物件あり（マンホール蓋、仕切り弁蓋等）	☐ A. 管理者による高さ調整（ ） ☐ B. 請負者による高さ調整（ ）
		☐	7. 占用支障物件あり（その他）	☐ A. 移設時期（ ） ☐ B. 移設時期（別途協議）
☐		8. その他	☐ A. その他（ ）	
排水工関係		☐	1. 濁水、湧水処理条件あり	☐ A. 方法（ ）
		☐	2. その他	☐ A. その他（ ）
再生材使用	☐	1. 再生材使用指定あり	☐ A. RC ☐ B. アスファルト再生合材（30%再生） ☐ C. アスファルト再生合材（100%再生） ☐ D. 再生材を使用できない場合別途協議 ☐ E.	
	☐	2. その他	☐ A. その他（ ）	
その他	☐	1. 現場発生材あり	☐ A. 品名（ ） ☐ B. 納入場所（ ）	
	☐	2. 支給材あり	☐ A. 品名（ ） ☐ B. 引渡し場所（ ）	
	☐	3. 現場環境改善	☐ A. 仮設費（ ） ☐ B. 安全費（ ） ☐ C. 営繕費（ ） ☐ D. 地域連携（ ）	
	☐	4. 「可児市工事品質証明実施要領」該当あり	☐ A. 品質証明員の配置あり	
	☐	5. 部分使用	☐ A. 範囲（ ） ☐ B. 時期（ ）	
	☐	6. その他	☐ A. その他（ ）	

名 称		仕 様	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
A	建築工事						
A-1	直接仮設工事		1.0	式			
A-2	防水改修工事		1.0	式			
A-3	屋根改修工事		1.0	式			
A-4	外壁改修工事		1.0	式			
A-5	塗装・外装改修工事		1.0	式			
A-6	その他改修工事		1.0	式			
A-7	解体・撤去工事		1.0	式			
A-8	発生材処分費		1.0	式			
	計						

名 称		仕 様	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
A-1	直接仮設工事						
	養生	外壁改修	1.0	式			別紙明細書－1
	養生	屋根改修	1.0	式			別紙明細書－2
	清掃・後片付け	外壁改修	1.0	式			別紙明細書－3
	清掃・後片付け	屋根改修	1.0	式			別紙明細書－4
	墨出し	屋根改修（葺替え範囲）	1.0	式			別紙明細書－5
	外部足場	手摺先行くさび緊結式 W=900 最上階手摺共	1.0	式			別紙明細書－6
	外部足場	脚立足場 直列	1.0	式			別紙明細書－7
	外部足場	枠組棚足場 H=4000程度	1.0	式			別紙明細書－8
	災害防止	養生シート（防災Ⅰ類）	1.0	式			別紙明細書－9
	小 計						
	改 め 計						

名 称		仕 様	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
A-2	防水改修工事						
	シーリング	PS-2 20×15程度 タイル面打継・伸縮目地	325.0	m			
	シーリング	MS-2 20×15程度 打放し面打継・伸縮目地	78.6	m			
	シーリング	MS-2 20×10程度 建具周囲	618.0	m			
	シーリング	MS-2 15×10程度 外壁各部取合	271.0	m			
	シーリング	MS-2 15×10程度 屋根廻り各部取合	176.0	m			
	防水あご・梁天端等塗膜防水	ウレタン樹脂系塗膜防水 密着工法(X-2)	3.0	m2			
	小 計						
	改 め 計						

名 称		仕 様	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
A-3	屋根改修工事						
	(屋根葺替え)						
	横葺	GLカラー鋼板 t=0.5 既設下地アンカー固定	87.5	m2			
		エバールーフⅡ型 同等品以上					
	下葺材	改質アスファルトルーフィング t=1.5	87.5	m2			
	軒先唐草	GLカラー鋼板 t=0.5	6.0	m			
	軒先水切	GLカラー鋼板 t=0.5 捨て板共	6.0	m			
	ケラバ包み	ケラバ水切り、捨て板共 GLカラー鋼板 t=0.5	14.6	m			
	軒包み	GLカラー鋼板 t=0.5	14.6	m			
	雪止め金具	溶融亜鉛めっき	7.0	箇所			
	雪止めアングル	L3*40*40 溶融亜鉛めっき	6.0	m			
	軒樋	前高W165 カラー	18.6	m			
	軒金物	溶融亜鉛めっき	32.0	箇所			
	落とし口	100φ	3.0	箇所			
	縦樋	VP100φ カラー	18.3	m			
	エルボ		6.0	箇所			
	縦樋金物	SUS	12.0	箇所			
	屋根材運搬費		1.0	式			

名 称		仕 様	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
	(屋根塗装改修)						
	高圧洗浄	15MPa程度 デッキブラシ併用	766.0	m2			
	耐候性塗料塗り (D P)	改修 B種 1級 (ふっ素樹脂塗料) 下地調整R B種 (鉄鋼面) 共	766.0	m2			
	(屋根防水処理改修)						
	高圧洗浄	15MPa程度 デッキブラシ併用	1.8	m2			
	ウレタン樹脂塗膜防水処理	特化物無配合1成分形高強度ウレタン塗膜防水 密着工法 (エバーコートZero-1H 同等品) ジョイント部処理・すき間充填処理共	1.0	式			
		目荒しケレン・プライマー塗布共					
	(軒樋清掃)						
	軒樋清掃	落葉防止ネット撤去・復旧含む	75.6	m			
	小 計						
	改 め 計						

名 称		仕 様	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
A-4	外壁改修工事						
	施工数量調査	タイル面	730.0	m2			
	〃	コンクリート打放し面	347.0	m2			
	〃	モルタル面	12.1	m2			
	外壁タイル面補修	一般部 ・ 注入口付アンカー ビニリング部分珪酸樹脂注入工法(16本/m2)	108.0	m2			
	〃	建具抱き部(狭幅部) ・ 注入口付アンカー ビニリング部分珪酸樹脂注入工法(5本/m2)	40.3	m			
	〃	出隅コーナー部(狭幅部) ・ 注入口付アンカー ビニリング部分珪酸樹脂注入工法(5本/m)	29.2	m			
	〃	欠損・ひび割れ・陶片浮き・汚損 張替工法 45二丁タイル張り	12.4	m2			
	〃	タイル下コンクリート躯体面ひび割れ補修 Uカットシール材充填工法	1.2	m			
	〃	タイル下コンクリート躯体面ひび割れ補修 自動式低圧珪酸樹脂注入工法	3.1	m			
	外壁コンクリート面補修	ひび割れ補修(幅1.0mm超) Uカットシール材充填工法	20.5	m			
	〃	ひび割れ補修(幅0.2mm以上～1.0mm以下) 自動式低圧珪酸樹脂注入工法	61.5	m			
	〃	ひび割れ補修(幅0.2mm未満) シール工法	70.6	m			
	外壁モルタル面補修	一般部 ・ 注入口付アンカー ビニリング部分珪酸樹脂注入工法(16本/m2)	10.3	m2			

名 称		仕 様	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
	外壁モルタル面補修	梁・手摺天端（狭幅部） ・ 注入口付アンカー ピンニング部分エポキシ樹脂注入工法（5本/m）	9.3	m			
	〃	ひび割れ補修（幅1.0mm超） Uカットシーリング材充填工法	2.4	m			
	〃	ひび割れ補修（幅0.2mm以上～1.0mm以下） 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	2.4	m			
	〃	ひび割れ補修（幅0.2mm未満） シーリング工法	3.6	m			
	外壁 欠損・爆裂面等補修	100×100程度 エポキシ樹脂モルタル充填工法	2.0	箇所			
	〃	50×50程度 エポキシ樹脂モルタル充填工法	8.0	箇所			
	外壁タイル面高圧洗浄	水洗工法 15MPa程度（調整）	730.0	m2			
	外壁タイル面クリーニング	工業用塩酸使用	730.0	m2			
	サッシクリーニング	外部面のみ ガラスクリーニング含む	335.0	m2			
	小 計						
	改 め 計						

名 称		仕 様	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
A-5	塗装・外装改修工事						
	仕上塗材アスベスト除去工事	剥離剤併用手工具ケレン工法	359.0	m2			
	外壁・軒裏面下地処理	コンクリート面・モルタル面 高圧水洗工法 30MPa程度	356.0	m2			
	外壁・軒裏面下地調整	コンクリート面・モルタル面 C-2	356.0	m2			
	複層仕上塗材E	改修外壁面 凹凸模様 アクリル	356.0	m2			
	〃	新設ボード面 凹凸模様 アクリル 素地ごしらえB種（ボード面）共	14.2	m2			
	耐候性塗料塗り（DP）	改修 B種 1級（ふっ素樹脂塗料） 下地調整RB種（鋼製建具面）共	27.3	m2			
	耐候性塗料塗り（DP）	改修 B種 1級（ふっ素樹脂塗料） 下地調整RB種（鉄鋼面）共	69.0	m2			
	耐候性塗料塗り（DP）	改修 A-1種 1級（ふっ素樹脂塗料） 下地調整RB種（縦樋VP管）共	38.7	m2			
	つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り	新規 B種 素地ごしらえB種（ボード面）共	10.9	m2			
	小 計						
	改 め 計						

名 称		仕 様	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
A-6	その他改修工事						
	(軒天改修)						
	軽量鉄骨天井下地	屋外 25型 @300	25.1	m2			
	軽量鉄骨天井下地開口補強		1.0	式			別紙明細書ー10
	珪酸カルシウム板	t=6 Vカット突付目地	25.1	m2			
	廻り縁	塩ビ製 コ型	60.7	m2			
	天井点検口	450角 アルミ 額縁仕様	1.0	箇所			
	(エントランス床改修)						
	床タイル下モルタル塗り	タイル下	12.0	m2			
	磁器質タイル張り	100角磁器質タイル 一般平部	12.0	m2			
	磁器質タイル張り	100角磁器質タイル 階段段鼻ノスリップ	12.0	m			
	タイルクリーニング	酸洗い	12.0	m2			
	(エントランス床清掃)						
	タイルクリーニング	酸洗い	81.9	m2			

名 称		仕 様	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
A-7	解体・撤去工事						
	シーリング撤去	弾性シーリング	1,468.0	m			
	カッター掛け	タイル撤去部	374.0	m			
	床タイル撤去	100角 下地モルタル共	12.0	m2			
	外壁タイル撤去	45二丁 下地モルタル共	12.4	m2			
	屋根段葺撤去	カラー鋼板 t=0.5 下葺ルーフィング材共	87.5	m2			
	屋根取合水切り・棟カバー撤去	カラー鋼板 t=0.5 捨て水切共	41.2	m			
	軒天下地撤去	L G S 下地	25.1	m2			
	軒天ボード撤去	珪酸カルシウム板	25.1	m2			
	軒樋撤去	耐酸被覆鋼板加工 鋼板製幕板H=300共	18.6	m			
	たて樋撤去	硬質塩化ビニル製（既製品）□-100×100	18.3	m			
	発生材積込費	コンクリート・モルタル類	1.0	m3			
	〃	ガラス・陶磁器質	0.6	m3			
	〃	廃プラスチック類	0.3	m3			
	〃	金属類	572.0	kg			

名 称		仕 様	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
	発生材運搬費	コンクリート・モルタル類	1.0	m3			
	〃	ガラス・陶磁器質	0.6	m3			
	〃	廃プラスチック類	0.3	m3			
	〃	金属類	572.0	kg			
	発生材積込費・運搬費	アスベスト含有仕上塗材	1.0	式			
	発生材積込費・運搬費	アスベスト含有成形版	1.0	式			
	小 計						
	改 め 計						

名 称		仕 様	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
A-8	発生材処分費						
	発生材処分費	コンクリート・モルタル類	1.0	m3			
	〃	ガラス・陶磁器質	0.6	m3			
	〃	廃プラスチック類	0.3	m3			
	〃	金属類	572.0	kg			
	発生材処分費	アスベスト含有仕上塗材	1.0	式			
	〃	アスベスト含有成形版	1.0	式			
	小 計						
	改 め 計						

名 称		仕 様	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
	共通仮設（積上分）						
	仮囲い	波形亜鉛鉄板 H=1800	107.0	m			
	工事用出入口	キャスターゲート W6000×H1800 程度	1.0	箇所			
	足場通用口扉	鋼製片開き扉 鍵付	2.0	箇所			
	アスベスト含有調査費	外壁面 4 箇所 採取・分析・報告書作成共	1.0	式			別紙明細書－11
	交通整理員		5.0	人			
	ラフラークレーン	20t オペレーター共	5.0	日			
	小 計						
	改 め 計						

名 称		仕 様	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
AB1	別紙明細書－ 1	養生					
	養生	外壁改修	544.0	m2			
	小 計						
	改め計						
AB2	別紙明細書－ 2	養生					
	養生	屋根改修	814.0	m2			
	小 計						
	改め計						

名 称		仕 様	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
AB3	別紙明細書－ 3	清掃・後片付け					
	清掃・後片付け	外壁改修	544.0	m2			
	小 計						
	改め計						
AB4	別紙明細書－ 4	清掃・後片付け					
	清掃・後片付け	屋根改修	814.0	m2			
	小 計						
	改め計						

名 称		仕 様	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
AB5	別紙明細書－ 5	墨出し					
	墨出し	屋根改修（葺替え範囲）	87.5	m2			
	小 計						
	改め計						
AB6	別紙明細書－ 6	外部足場					
	外部足場	手摺先行くさび緊結式 W=900 最上階手摺共	1,129.0	m2			
	小 計						
	改め計						

名 称		仕 様	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
AB7	別紙明細書－ 7	外部足場					
	外部足場	脚立足場 直列	84.0	m			
	小 計						
	改め計						
AB8	別紙明細書－ 8	外部足場					
	外部足場	枠組棚足場 H=4000程度	51.0	m2			
	小 計						
	改め計						

名 称		仕 様	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
AB9	別紙明細書－ 9	災害防止					
	災害防止	養生シート（防災Ⅰ類）	1,129.0	m2			
	小 計						
	改め計						
AB10	別紙明細書－ 10	軽量鉄骨天井下地開口補強					
	軽量鉄骨天井下地開口補強	25型 450×450程度	1.0	箇所			
	小 計						
	改め計						

名 称		仕 様	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
AB11	別紙明細書－ 1 1	検体採取費					
	検体採取費		1.0	式			
	分析費	外壁面 4 箇所 採取・分析・報告書作成共	4.0	箇所			
	小 計						
	改め計						

平牧地区センター外部改修工事

図 面 目 録					
番号	図 面 名 称	縮尺	番号	図 面 名 称	縮尺
A-01	特記仕様書（１）	—	A-15	改修断面詳細図－４	1/50
A-02	特記仕様書（２）	—	A-16	改修断面詳細図－５	1/50
A-03	特記仕様書（３）	—	A-17	建具符号図	1/20・350
A-04	コンクリート打放し部・モルタル部改修フロー図	—	A-18	建具表－１	1/100
A-05	タイル張り部改修フロー図	—	A-19	建具表－２	1/100
A-06	配置図・付近見取図	1/300	A-20	既設外壁調査図－１【参考図】	1/150
A-07	１階平面図	1/200	A-21	既設外壁調査図－２【参考図】	1/150
A-08	２階平面図	1/200			
A-09	屋根伏図	1/200			
A-10	立面図－１	1/150			
A-11	立面図－２	1/150			
A-12	改修断面詳細図－１	1/50			
A-13	改修断面詳細図－２	1/50			
A-14	改修断面詳細図－３	1/50			

株式会社 三宅設計

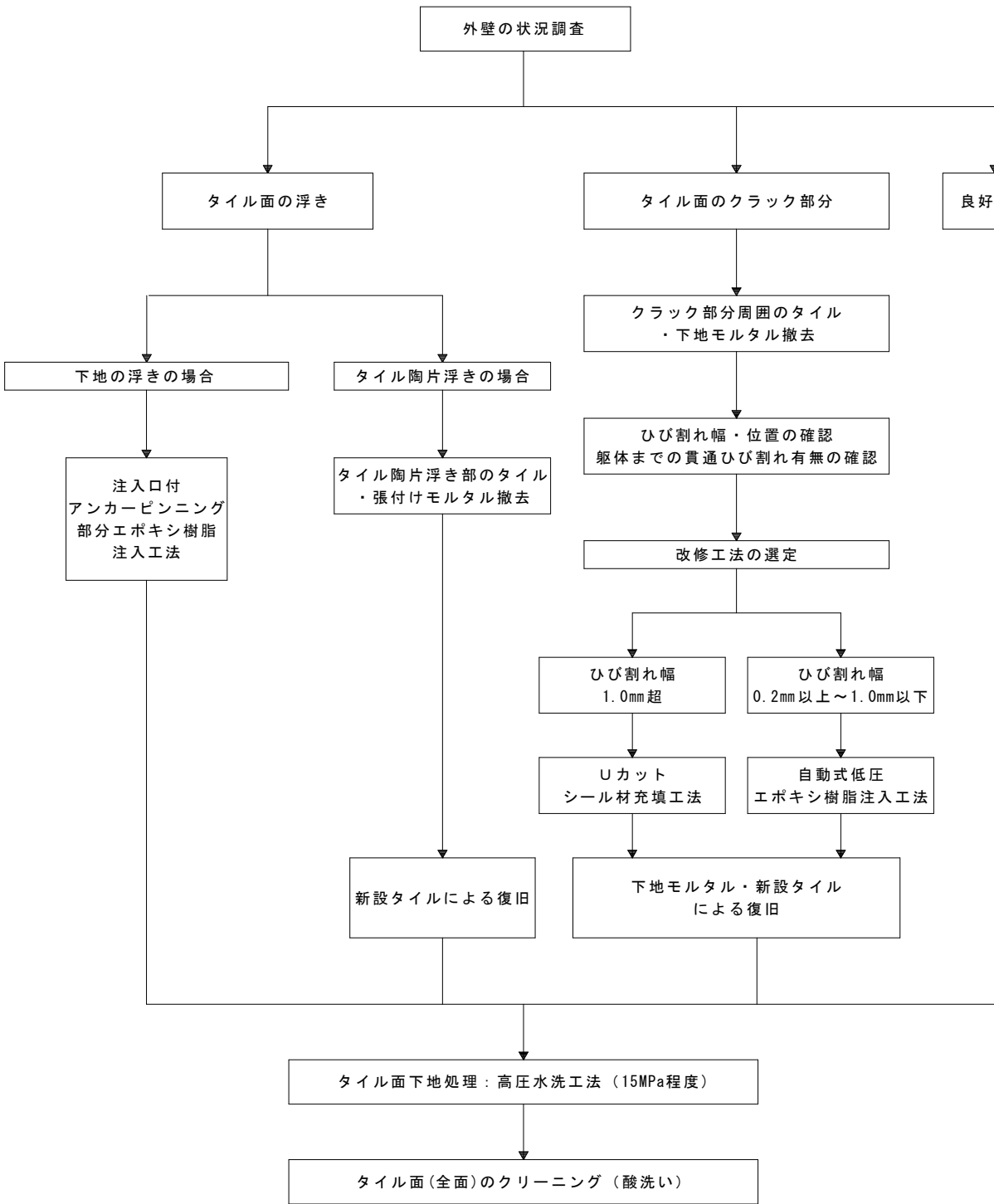
[illegible]

改修工法フロー図－１（コンクリート打放し面・モルタル面）						
特記なき事項は、公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）平成31年版による						
コンクリート打放し部・モルタル塗り部 改修フロー	モルタル浮き部	モルタル浮き部 （剥落の恐れのある0.25㎡以上の浮き）	欠損部等 （鉄筋爆裂部・鉄筋露出部共）	ひび割れ部	ひび割れ部	ひび割れ部
補修範囲の確認 劣化現象調査 良好部分 浮き部 ひび割れ 欠損部等 （注4） 既存アスベスト含有吹付仕上塗材除去 剥離剤併用手工具ケレン工法（原則、対象範囲全面除去） （注3） 注入口付アンカー ピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法 ひび割れ幅・位置の確認 躯体までの貫通ひび割れ有無の確認 改修工法の選定 幅1.0mm超 （注2） 幅0.2mm以上～1.0mm以下 （注2） 幅0.2mm未満 （注1） （注1）：モルタルが浮いている部分のひび割れ部にも施工 （注2）：モルタルが浮いていないひび割れ部に施工 または、モルタルが浮いている部分のひび割れで、躯体まで貫通しているひび割れについても施工する 但し、モルタルのひび割れと、躯体のひび割れがずれている場合は、躯体のひび割れに沿ってモルタルをハツリ、 コンクリート面に注入施工を行うこと （注3）：通常レベルの打撃力によって剥落する恐れのあるモルタルの浮きは、監督職員と協議のうえモルタル塗替え工法 又は充填工法とする （注4）：既存吹付仕上塗材のアスベスト含有は、仕上塗材側にあるものとするが、本工事にて行なう調査の結果によっては 上記除去工法についての確認、見直しを行い、施工の際は含有する部位に合わせた適切な除去工法を採用すること 既存塗膜等の除去及び下地処理 外壁一般部・巾木：高圧水洗工法（30MPa程度） 庇天端面（笠木・立上り面共）：水洗い工法（15MPa程度・デッキブラシ併用） ※劣化膜を撤去し、活膜は残す ※特記ある部分の下地処理は、監督職員の承諾を得て行い、処理後に確認を受けること 下地処理調整材 吹付もしくはこて塗（材料・工法は監督職員の承諾を得ること） 下地調整材の種別：セメント系下地調整塗材（C-2） コンクリート打放し面及び、モルタル仕上面、上裏面：複層塗材RE 吹付 トップコート：水系アクリル樹脂塗料 艶有 オール水性 工法：凹凸模様	注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法 モルタル浮き部分の確認 劣化状態・面積・浮き代 下地状態 既存アスベスト含有吹付仕上塗材除去 穿孔位置のマーキング （一般部分：16本/㎡当り） また、狭幅部（幅200mm以下） には、幅中央に5本/㎡とする 穿孔 （コンクリート中に20mm以上の 深さまで） 穿孔内の清掃 （ブラシ等で清掃後、圧搾空気 による切粉等の除去） 注入用材の計量・練混ぜ （主材と硬化剤を規定量 正確に計測し、均一に なるまで十分練り混ぜる 計量は可使用時間内に使い 切る量とする） アンカーピン の挿入 （アンカーピンの長さは、 モルタルの厚みに+20mm以上） 手動式注入器により エポキシ樹脂の注入 （特記なき場合：1穴当り 25cc 高粘度形） エポキシ樹脂パテ等にて 孔を埋め表面を平に仕上げる 養生 清掃後、自主確認（充填 状況を目視や指触により確認） ※樹脂注入材については サンプリングし硬化不良 の無い事を確認する	モルタル塗替え工法 モルタル浮き部分の確認 劣化状態・面積・浮き代 下地状態 既存アスベスト含有吹付仕上塗材除去 脆弱部分と健全部分を切り離し 脆弱部分の除去 除去部の清掃 ステンレスアンカーピン打込み ステンレスラス張り等の剥落防止 （総塗り厚が25mm以上になる場合） プライマーの塗布 モルタルの計量・練混ぜ （機械練りを原則とし、練混ぜ量は 可使用時間内に使いきれる 量とする） モルタル塗り 養生 清掃後、自主確認（充填 状況を目視や指触により確認）	エポキシ樹脂モルタル充填工法 鉄筋の錆汁流出部や ハガレ部の確認 （劣化状態の確認） 既存アスベスト含有吹付仕上塗材除去 鉄筋の錆汁流出部はつり 並びにハガレ部分の撤去 除去部の清掃 防錆処理 （エポキシ系防錆材塗布） プライマーの塗布 充填材の計量・練混ぜ （主材と硬化剤を規定量 正確に計測し、均一に なるまで十分練り混ぜる） エポキシ樹脂モルタル充填 養生 清掃後、自主確認（充填 状況を目視や指触により確認）	ひび割れ部 ひび割れ部分の確認 劣化状態・ひび割れの状態 既存アスベスト含有吹付仕上塗材除去 ひび割れに沿って電動カッター等を用いて幅10mm程度、深さ10～15mm 程度にU字型の溝を設ける Uカット溝内部に付着している切片、 粉じん等はワイヤーブラシ、はけ等 で除去し入念に清掃を行なう 被着体に適したプライマーを溝内部 に塗残しのないよう均一に塗布する 2成分形シーリング材を均一になる まで練混ぜる シーリング材は表面から3～5mm低めに 隅々まで行きわたるよう充填し、 へらで押え下地と密着させて表面を 平滑に仕上げる シーリング材が硬化するまで適切に 養生を行なう シーリング材のうえにポリマーセメント モルタルをコンクリート表面に 合わせて平滑に塗込み仕上げる ポリマーセメントモルタルが硬化する まで適切に養生を行なう 充填部以外に付着した材料、汚れ等 を適切な方法で除去し、清掃する 自主確認（充填状況を目視や指触により確認）	ひび割れ部 ひび割れ部分の確認 劣化状態・ひび割れの状態 既存アスベスト含有吹付仕上塗材除去 ひび割れ部分の清掃 注入孔位置のマーキング 台座の接着 仮止めシール （ひび割れ幅を中心に 幅30mm、厚さ2mm程度 シールする） シール材などの養生 （仮止めシール材などが 硬化するまで養生） 注入用エポキシ樹脂の 計量・練混ぜ （主材と硬化剤を規定量 正確に計測し、均一に なるまで十分練り混ぜる 計量は可使用時間内に使い 切る量とする） エポキシ樹脂注入 養生 仕上（仮止めシール材除去） 清掃後、自主確認 （注入状況を目視確認） ※樹脂注入材については サンプリングし硬化不良 の無い事を確認する	ひび割れ部 ひび割れ部分の確認 劣化状態・ひび割れの状態 既存アスベスト含有吹付仕上塗材除去 ひび割れ部分の清掃 シール材の計量・練混ぜ （規定量正確に計測し、 均一になるまで練り混ぜる） シール材の塗布 （ヘラ等で幅10mm 厚み2mm程度塗布し 表面を平滑に仕上げる） 養生 清掃後、自主確認（充填 状況を目視や指触により確認）
改修特記事項						
1 仮設足場設置後、改修フローチャートに則り、施工対象箇所を現地調査すること。 2 調査の際、外壁診断技術をもつ者が必ず立ち会い、補修範囲をマーキングすること。 3 マーキングは色分け等を行い、タイル面・下地モルタル浮き、クラック補修範囲を明示すること。 4 マーキングにて補修範囲を示した後、監督員による現場確認を行い、補修工事範囲の決定をする。 現場のみではなく、図面にも補修範囲を記入し、監督員に提出すること。 5 設計図と補修範囲が大きく相違する場合、監督員と協議を行うこと。						
備考			株式会社 三宅設計		承認	設計
			TEL 0574 (62) 1881 FAX 0574 (62) 5432 1級建築士 三宅晶信 第68278号		設計年月日	NO.
					2021-11	A-04
					工事名	平牧地区センター外部改修工事 工事設計図
					図面名	コンクリート打放し部・モルタル部改修フロー図 scale A2：—

改修工法フロー図－２（外壁タイル張り面）

特記なき事項は、公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）平成31年版による

タイル張部 改修フロー



タイル浮き補修

注入口付アンカーピンニング
部分エポキシ樹脂注入工法

モルタル浮き部分の確認
劣化状態・面積・浮き代
下地状態

穿孔位置のマーキング（一般・指定共）
アンカーピン：16本/m²当り

また、狭幅部（幅200mm以下）
には、幅中央に5本/mとする

穿孔
（コンクリート中に20mm以上の
深さまで）

穿孔内の清掃
（ブラシ等で清掃後、圧搾空気
による切粉等の除去）

注入用材の計量・練混ぜ
（主材と硬化剤を規定の量を正確に
計測し、均一になるまで十分練り
混ぜる
計量は可使用時間内に使い切る量
とする）

アンカーピンの挿入
（アンカーピンの長さは、
モルタルの厚みに+20mm以上）

手動式注入器により
エポキシ樹脂の注入
（特記なき場合：1穴当り
25cc 高粘度形）

養生

エポキシ樹脂パテ等にて
孔を埋め表面を平に仕上げる

清掃後、自主確認（充填
状況を目視や指触により確認）

※樹脂注入材については
サンプリングし硬化不良
の無い事を確認する

躯体コンクリートひび割れ部

Uカットシール材充填工法

ひび割れ部分の確認
劣化状態・ひび割れの状態

ひび割れに沿って電動カッター等を用いて幅10mm程度、深さ10～15mm程度にU字型の溝を設ける

Uカット溝内部に付着している切片、粉じん等はワイヤーブラシ、はけ等で除去し入念に清掃を行なう

被着体に適したプライマーを溝内部に塗残しのないよう均一に塗布する

可とう性エポキシ樹脂を均一になるまで練混ぜる

可とう性エポキシ樹脂を隅々まで行きわたるよう充填し、へらで押え、下地と密着させて表面を平滑に仕上げる

可とう性エポキシ樹脂が硬化しないうちに、その表面にけい砂を散布する

可とう性エポキシ樹脂が硬化するまで適切に養生を行なう

充填部以外に付着した材料、汚れ等を適切な方法で除去し、清掃する

自主確認（充填状況を目視や指触により確認）

躯体コンクリートひび割れ部

自動式低圧エポキシ樹脂注入工法

ひび割れ部分の確認
劣化状態・ひび割れの状態

ひび割れ部分の清掃

注入孔位置のマーキング

台座の接着

仮止めシール
（ひび割れ幅を中心に
幅30mm、厚さ2mm程度
シールする）

シール材などの養生
（仮止めシール材などが
硬化するまで養生）

注入用エポキシ樹脂の
計量・練混ぜ
（主材と硬化剤を規定の量を
正確に計測し、均一に
なるまで十分練り混ぜる
計量は可使用時間内に使い
切る量とする）

エポキシ樹脂注入

養生

仕上（仮止めシール材除去）
清掃後、自主確認
（注入状況を目視確認）

※樹脂注入材については
サンプリングし硬化不良
の無い事を確認する

欠損部等
（鉄筋爆裂部・鉄筋露出部共）

エポキシ樹脂モルタル充填工法

鉄筋の錆汁流出部や
ハガレ部の確認
（劣化状態の確認）

鉄筋の錆汁流出部はつり
並びにハガレ部分の撤去

除去部の清掃

防錆処理
（エポキシ系防錆材塗布）

プライマーの塗布

充填材の計量・練混ぜ
（主材と硬化剤を規定の量を
正確に計測し、均一に
なるまで十分練り混ぜる）

エポキシ樹脂モルタル充填

養生

清掃後、自主確認（充填
状況を目視や指触により確認）

改修特記事項

- 仮設足場設置後、改修フローチャートに則り、施工対象箇所を現地調査すること。（タイル下地モルタル厚さの確認を行い、アンカーピン長選定の協議を行うこと。）
- 調査の際、外壁診断技術をもつ者が必ず立ち会い、補修範囲をマーキングすること。
- マーキングは色分け等を行い、タイル面・下地モルタル浮き、クラック補修範囲を明示すること。
- マーキングにて補修範囲を示した後、監督員による現場確認を行い、補修工事範囲の決定をする。
現場のみではなく、図面にも補修範囲を記入し、監督員に提出すること。
- 設計図と補修範囲が大きく相違する場合、監督員と協議を行うこと。

備考



株式会社 三宅設計
TEL 0574（62）1881
FAX 0574（62）5432 1級建築士 三宅 晶 信 第68278号

承認

設計

設計年月日

2021-11

NO.

A-05

工事名

平牧地区センター外部改修工事

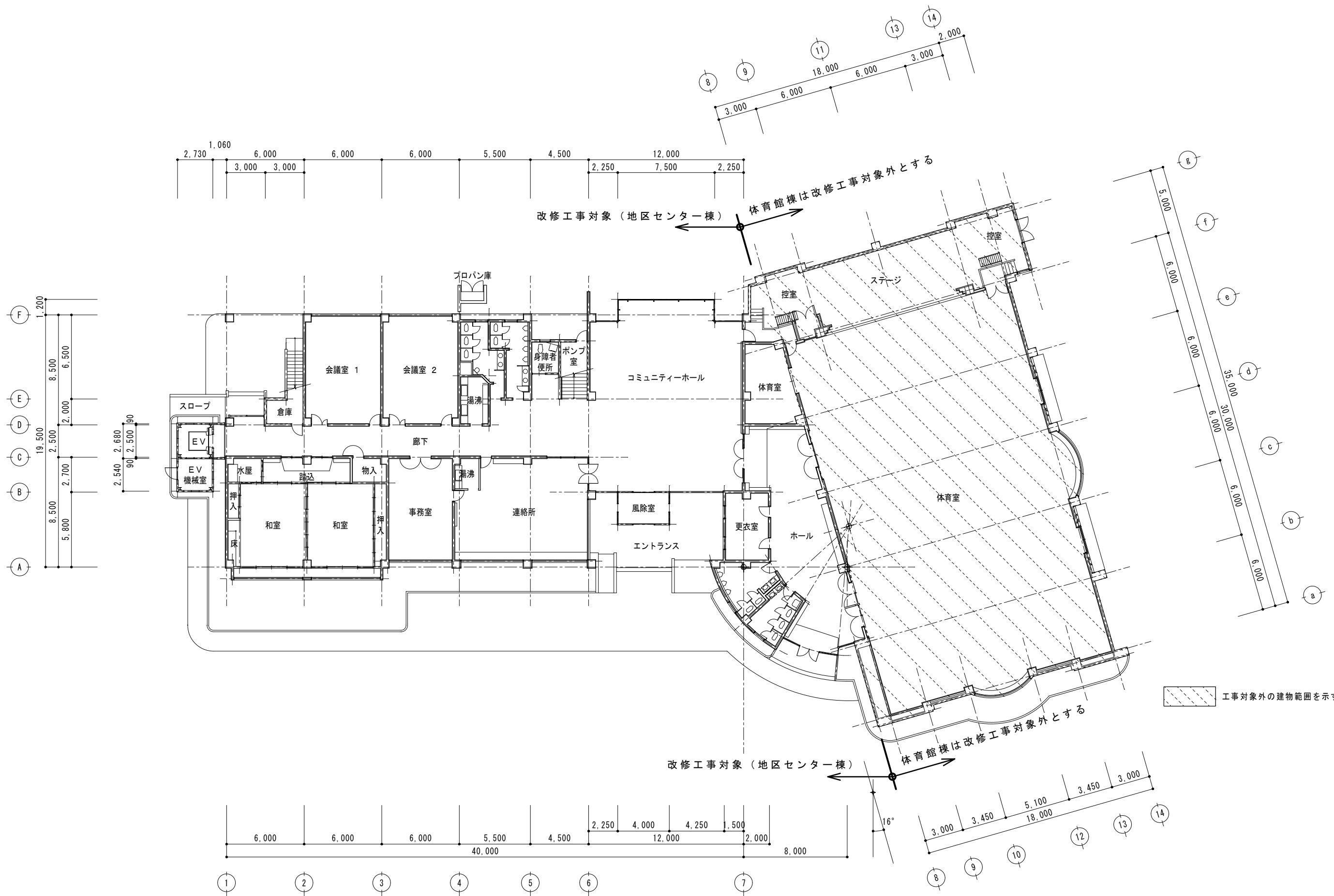
工事設計図

図面名

タイル張り部改修フロー図

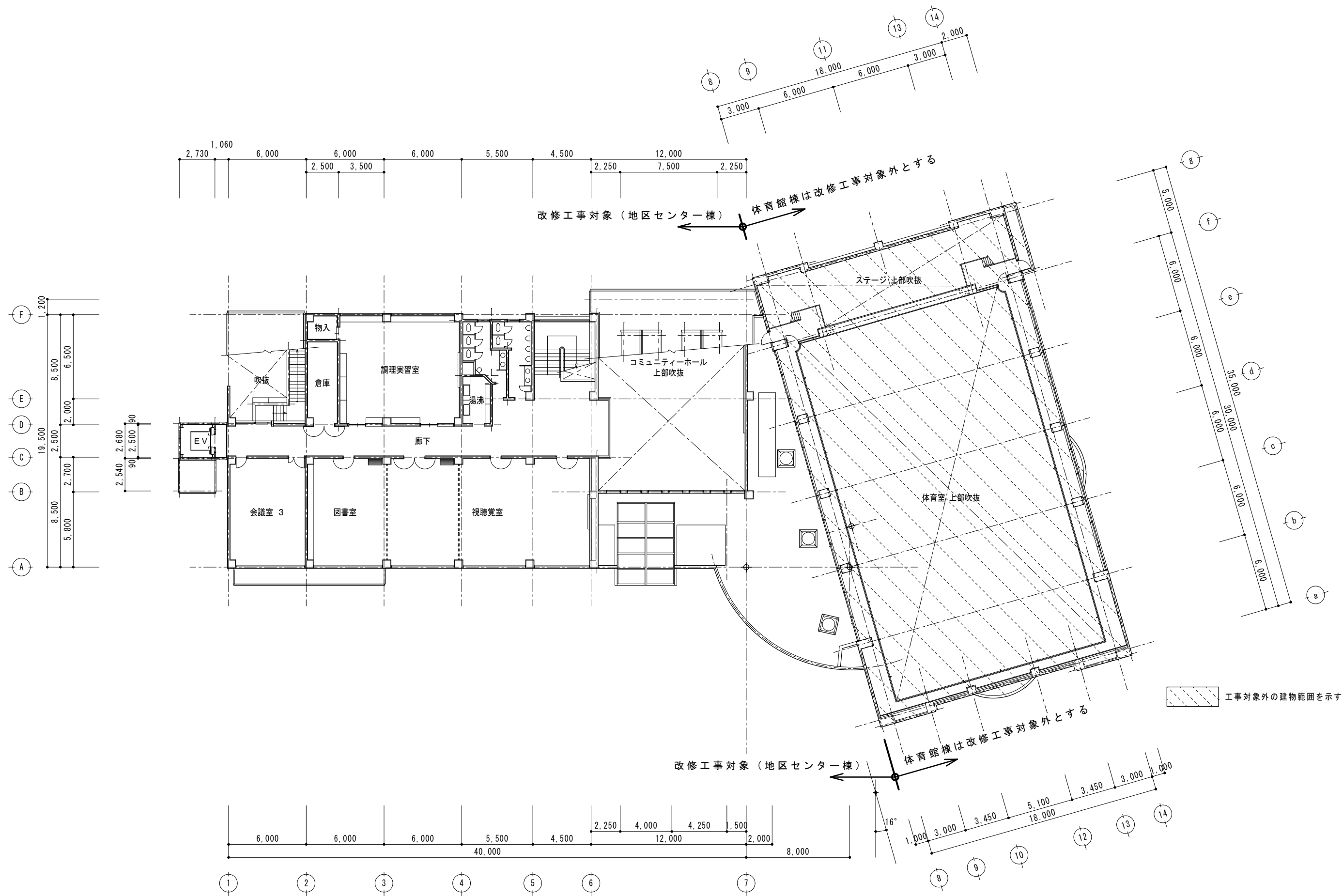
scale

A2：—

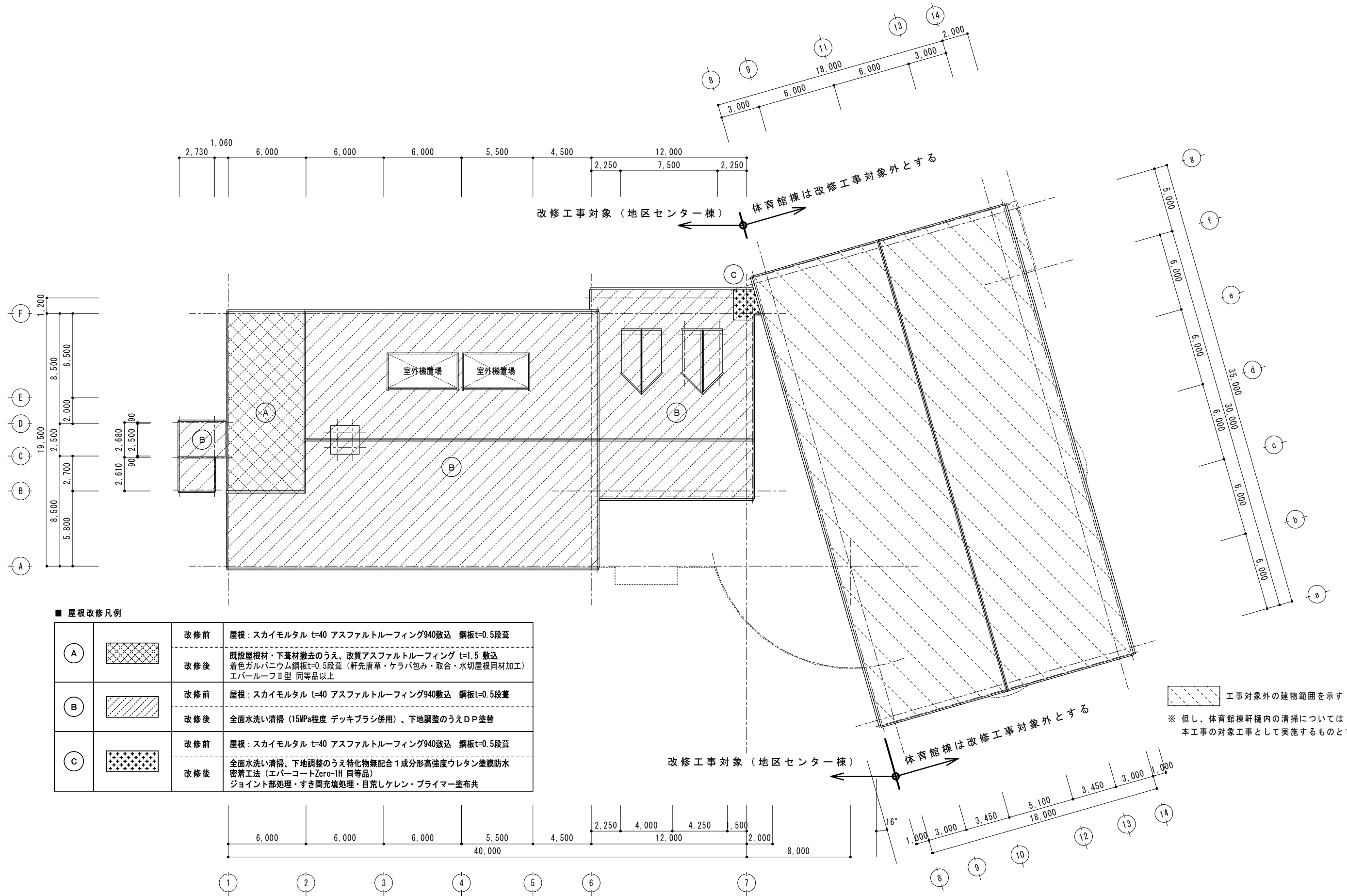


工事対象外の建物範囲を示す

備考	株式会社 三宅設計 TEL 0574 (62) 1881 FAX 0574 (62) 5432 1級建築士 三宅 晶 信 第68278号			承認	設計	設計年月日 2021-11	NO. A-07	工事名	平牧地区センター外部改修工事	工事設計図
								図面名	1階平面図	scale A2 : 1/200



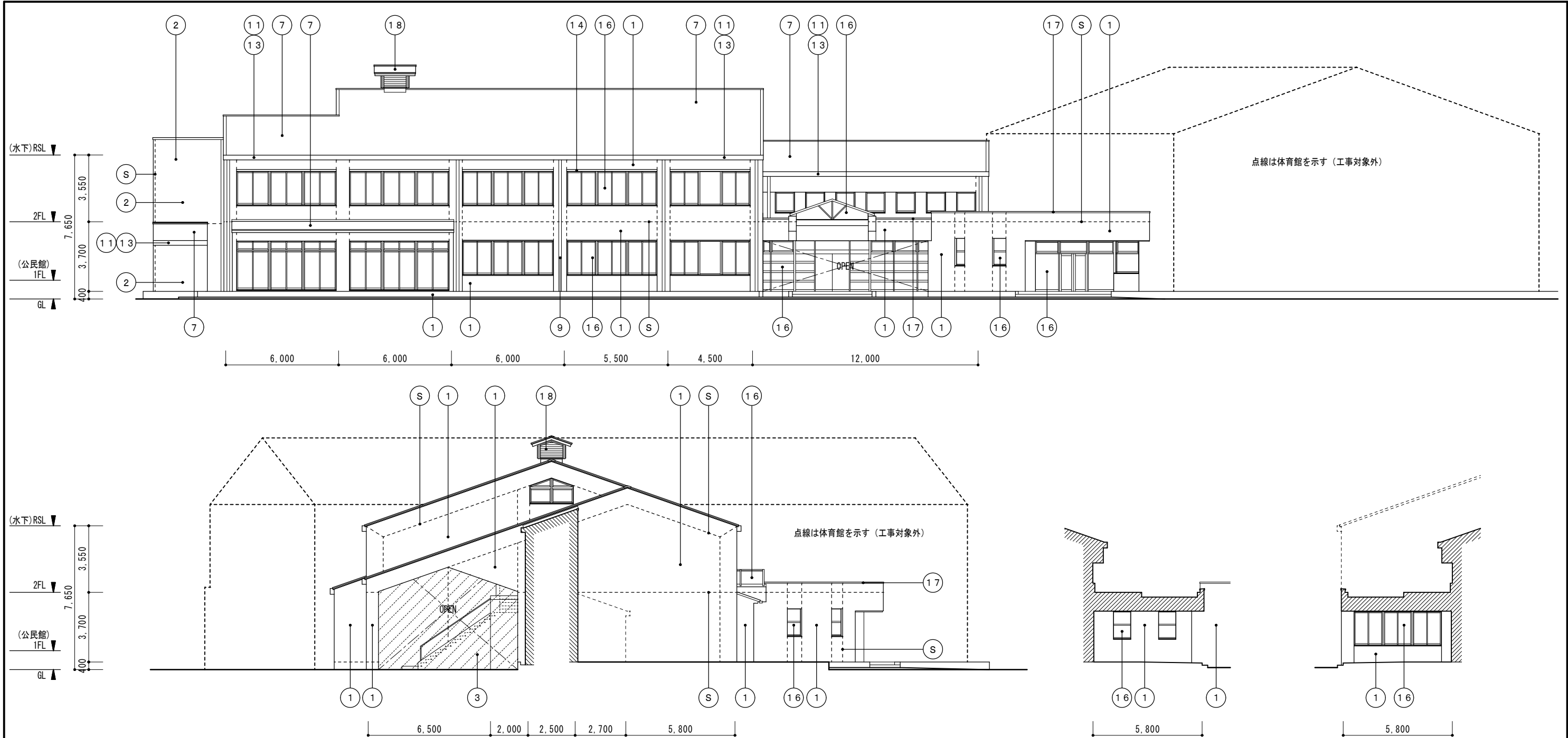
備 考	株式会社 三宅設計 TEL 0574 (62) 1881 FAX 0574 (62) 5432 1級建築士 三宅 晶 信 第68278号				承認	設計	設計年月日 2021-11	No. A-08	工事名	平牧地区センター外部改修工事	工事設計図
									図面名	2階平面図	scale A2 : 1/200



■ 屋根改修凡例

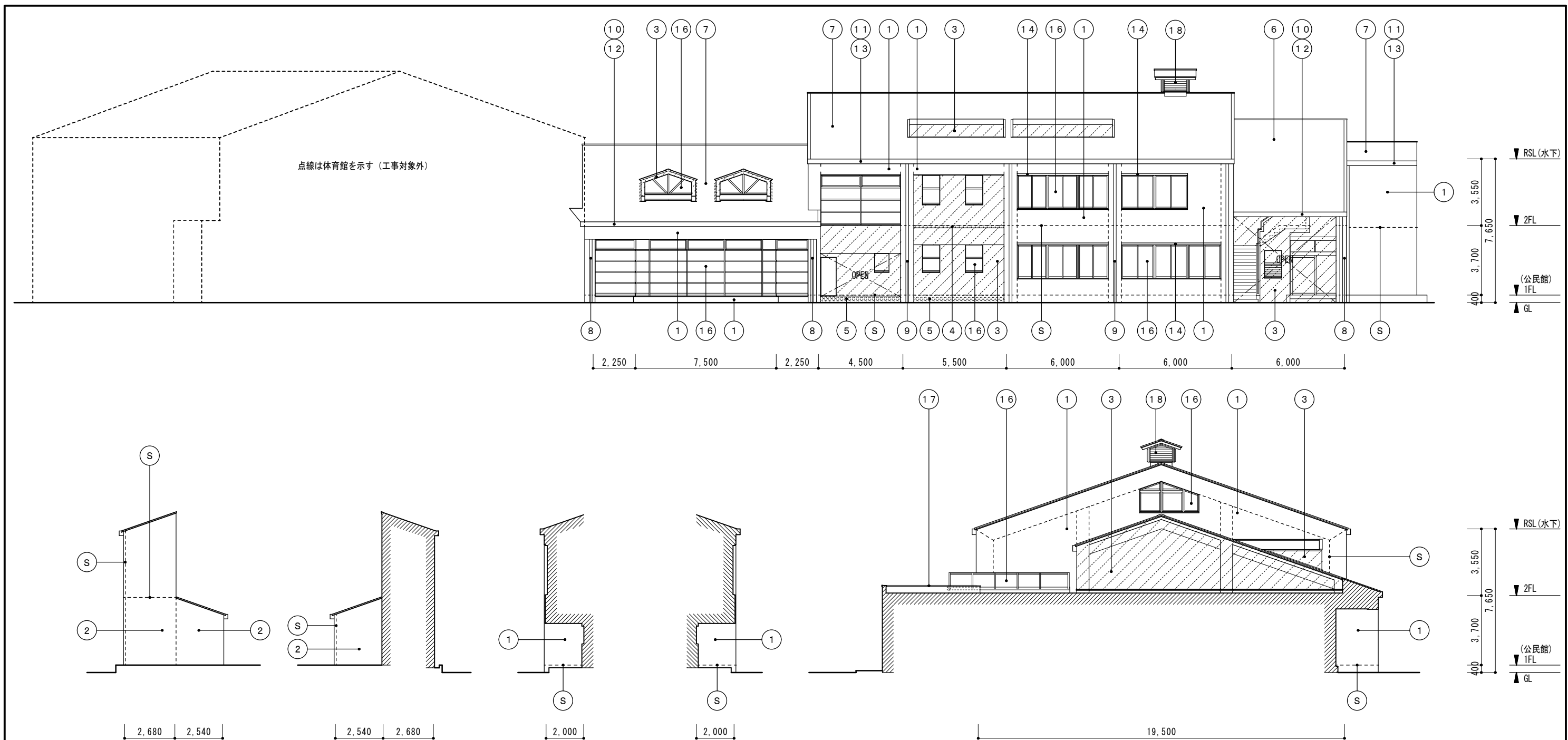
A		改修前	屋根：スカイモルタル t=40 アスファルトルーフィング940敷込 鋼板t=0.5段葺
		改修後	既設屋根材・下葺材撤去のうえ、改質アスファルトルーフィング t=1.5 敷込 着色ガルバニウム鋼板t=0.5段葺（軒先唐草・ケラバ包み・取合・水切屋根同材加工） エパールーフⅡ型 同等品以上
B		改修前	屋根：スカイモルタル t=40 アスファルトルーフィング940敷込 鋼板t=0.5段葺
		改修後	全面水洗い清掃（15MPa程度 デッキブラシ併用）、下地調整のうえDP塗替
C		改修前	屋根：スカイモルタル t=40 アスファルトルーフィング940敷込 鋼板t=0.5段葺
		改修後	全面水洗い清掃、下地調整のうえ特化物無配合1成分形高強度ウレタン塗膜防水 密着工法（エパークートZero-1H 同等品） ジョイント部処理・すき間充填処理・目荒しケレン・プライマー塗布共

工事対象外の建物範囲を示す
※ 但し、体育館棟軒樋内の清掃については
本工事の対象工事として実施するものとする



番号	種別	内 容	番号	種別	内 容	番号	種別	内 容
①	改修前 改修後	外壁タイル張り面一般部：下地モルタル 磁器質45二丁タイル張り（45×95） 不良部補修改修 下地処理のうえ、高圧水洗 タイルクリーニング	⑧	改修前 改修後	たて樋：硬質塩化ビニル管（VP）□-100×100 VP（掴み金物@1200以内 SOP） 既設撤去のうえ硬質塩化ビニル管（VP）φ100 カラー	⑬	改修前 改修後	外部アルミ製建具（一般部）：アルマイトシルバー 開口部廻りシーリング アルミ製建具・ガラス面クリーニング（外部のみ） 建具周囲シーリング打替
②	改修前 改修後	外壁タイル張り面一般部：ALCパネル下地 磁器質45二丁タイル張り（45×95） 不良部補修改修 下地処理のうえ、高圧水洗 タイルクリーニング	⑨	改修前 改修後	たて樋：硬質塩化ビニル管（VP）□-100×100 VP（掴み金物@1200以内 SOP） 下地調整のうえDP塗替（掴み金物 DP塗替）	⑭	改修前 改修後	笠木：アルミニウム製笠木 既設のまま
③	改修前 改修後	外壁コンクリート打放し面一般部：コンクリート化粧打放し 複層塗材RE コンクリート打放し面不良部補修改修 下地調整のうえ、高圧水洗 複層塗材RE	⑩	改修前 改修後	軒樋：耐酸被覆銅板 箱樋加工 既設撤去のうえ前高W165軒樋（SUS製取付金物共） カラー	⑮	改修前 改修後	サイレン塔：アルミ格子（コンクリート下地） 既設のまま（但し、屋根・外壁面見え隠りは塗替対象）
④	改修前 改修後	梁型天端：モルタル金こて 複層塗材RE モルタル塗り面不良部補修改修 下地調整のうえ、高圧水洗 塗膜防水	⑪	改修前 改修後	軒樋：耐酸被覆銅板 箱樋加工 既設のまま（但し、軒樋内部の清掃は本工事にて行なう）	S	シーリング改修 打継・伸縮目地 ： ・外壁タイル部：PS-2 ・外壁打放し・モルタル部：以下による 塗装仕上あり：PU-2 塗装仕上なし：MS-2（ノンブリード仕様） 建具・外部取合目地： ・MS-2（ノンブリード仕様）	
⑤	改修前 改修後	巾木モルタル塗り面：モルタル金こて仕上 既設のまま	⑫	改修前 改修後	軒樋幕板：カラー銅板 t=0.5 加工 既設撤去（軒樋撤去新設部分）			
⑥	改修前	屋根：スカイモルタル t=40 アスファルトルーフィング940敷込 銅板t=0.5段葺	⑬	改修前 改修後	軒樋幕板：カラー銅板 t=0.5 加工 下地調整のうえDP塗替			
	改修後	既設屋根材・下葦材撤去のうえ、改質アスファルトルーフィング t=1.5 敷込 着色ガルバニウム銅板t=0.5段葺（軒先唐草・ケラバ包み・取合・水切屋根同材加工）	⑭	改修前 改修後	小庇：アルミニウム製飾り庇 下地調整のうえDP塗替			
⑦	改修前 改修後	屋根：スカイモルタル t=40 アスファルトルーフィング940敷込 銅板t=0.5段葺 全面水洗い清掃（15MPa程度 テッキブラシ併用）、下地調整のうえDP塗替	⑮	改修前 改修後	外部鋼製建具：FP 開口部廻りシーリング 下地調整のうえDP（内外共） 建具周囲シーリング打替	■ 注記事項 1. 外壁補修改修内容はフロー図による 2. 塗装改修下地処理は特記仕様書による 3. シーリング改修位置は代表的な部位を示すものとし、必要箇所にはすべて施工とする		

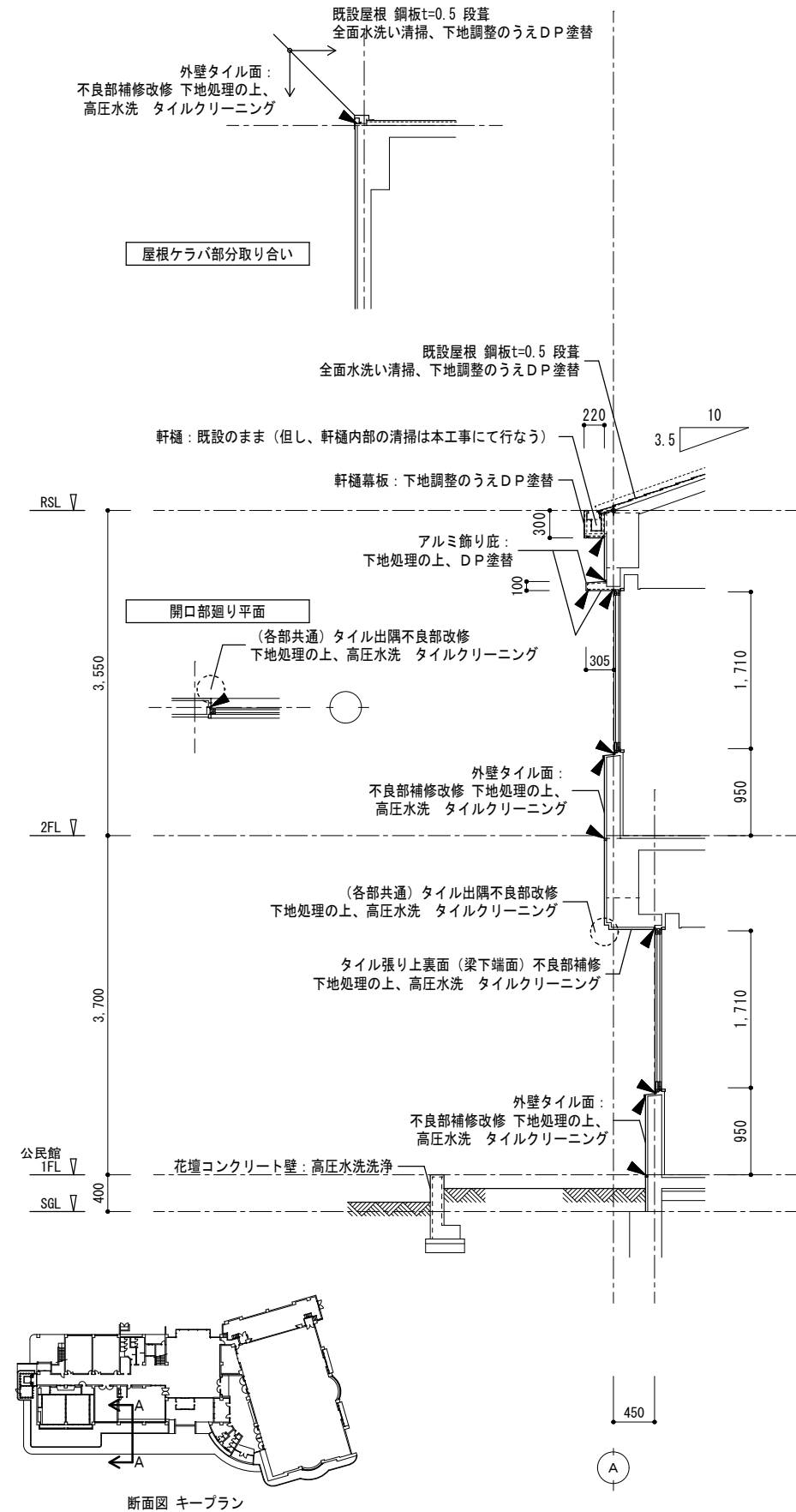
共通事項：改修対象範囲内にある既存外壁面の複層塗材RE（その他仕上塗材面をすべて含む）の仕上げ塗装側にアスベスト含有があるものとするため、剥離剤併用手工具ケレン工法により適切に全面について除去を必要とするが、事前調査の結果によっては、協議の上、変更可とする。



外壁補修内容一覧							
■ 外壁タイル面不良箇所		■ モルタル塗り面不良箇所		■ コンクリート打ち放し面不良箇所		■ 外壁欠損・爆裂部	
タイル面の浮き (下地面の浮き部分・補修)	108.0 m ²	モルタル塗り面の浮き	10.3 m ²	ひび割れ (1.0mm超)	20.5 m	100×100 程度	2 箇所
欠損・ひび割れ部分・陶片浮き・汚損部分 (張替)	12.4 m ²	モルタル塗り面の浮き (狭幅部)	9.3 m	ひび割れ (0.2mm～1.0mm)	61.5 m	50×50 程度	8 箇所
建具抱き側面・上端等のタイル面浮き (下地面の浮き狭幅部・補修)	40.3 m	ひび割れ (1.0mm超)	2.4 m	ひび割れ (0.2mm未満)	70.6 m		
外壁出隅・コーナー等のタイル面浮き (下地面の浮き狭幅部・補修)	29.2 m	ひび割れ (0.2mm～1.0mm)	2.4 m				
タイル下コンクリート躯体面のひび割れ (1.0mm超)	1.2 m	ひび割れ (0.2mm未満)	3.6 m				
タイル下コンクリート躯体面のひび割れ (0.2mm～1.0mm)	3.1 m						

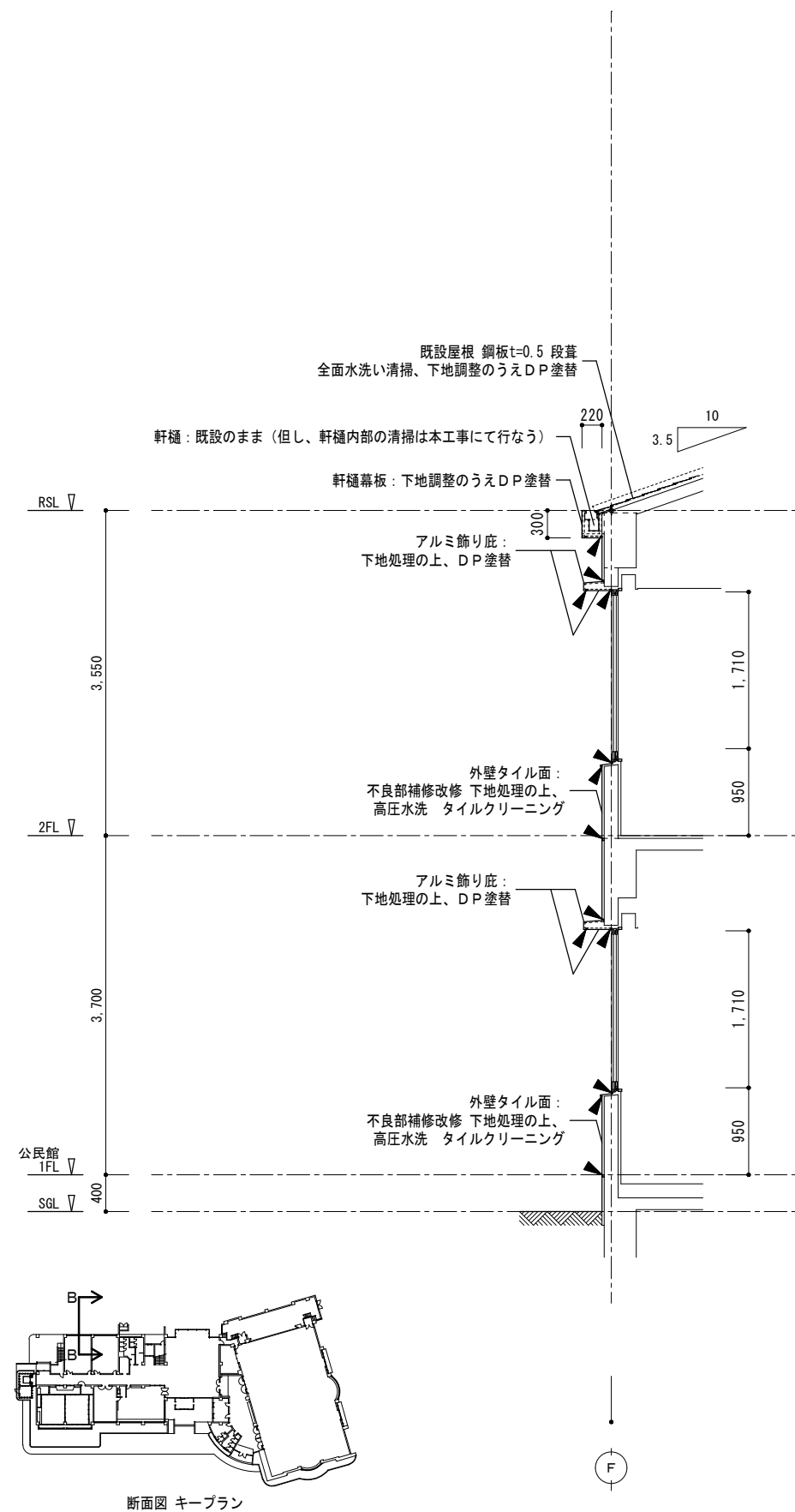
A - A 改修断面詳細図

- ▲ : シーリング打替部分を示す
 ○ : タイル出隅不良部改修箇所を示す



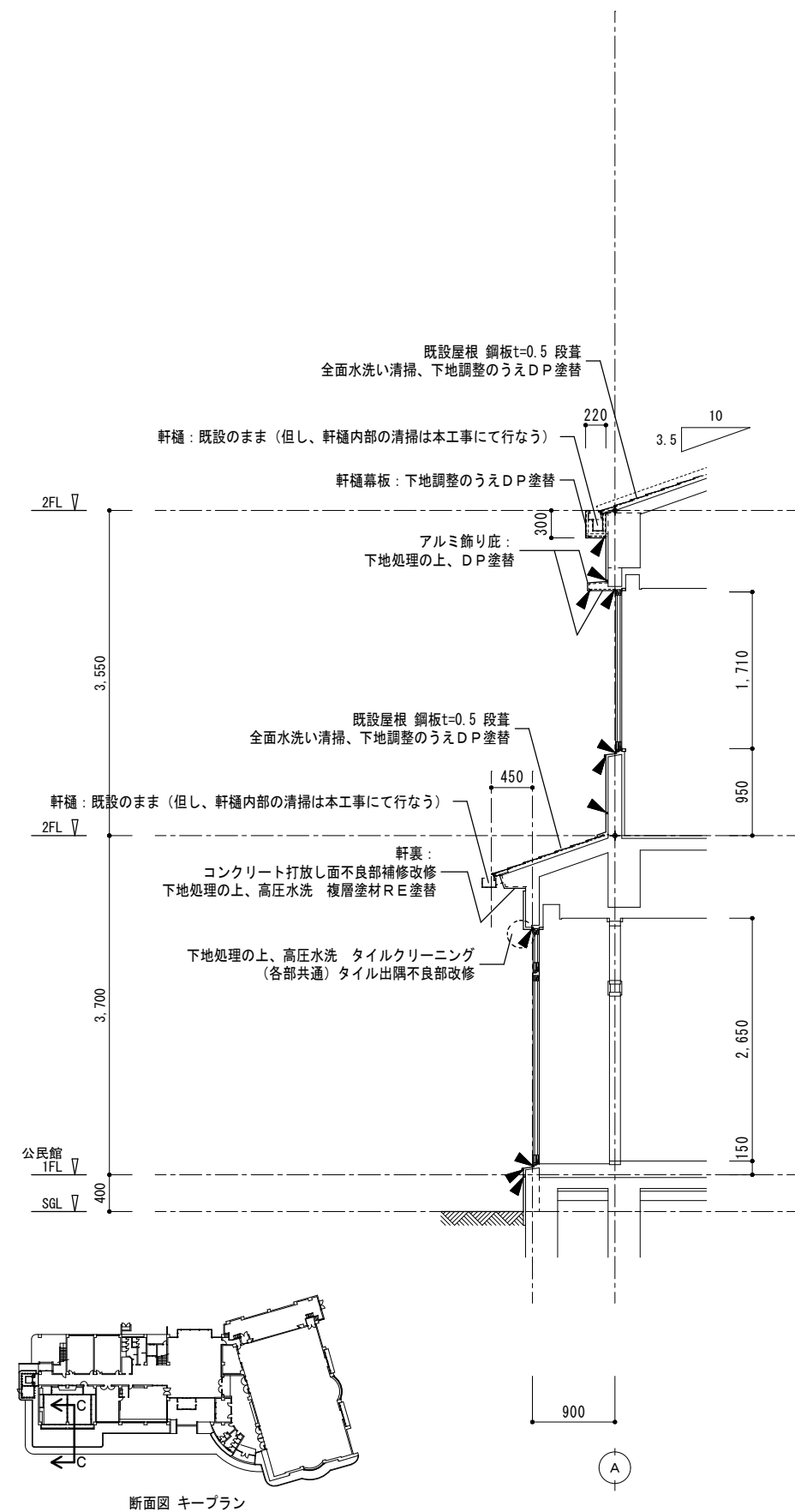
B - B 改修断面詳細図

- ▲ : シーリング打替部分を示す
 ○ : タイル出隅不良部改修箇所を示す



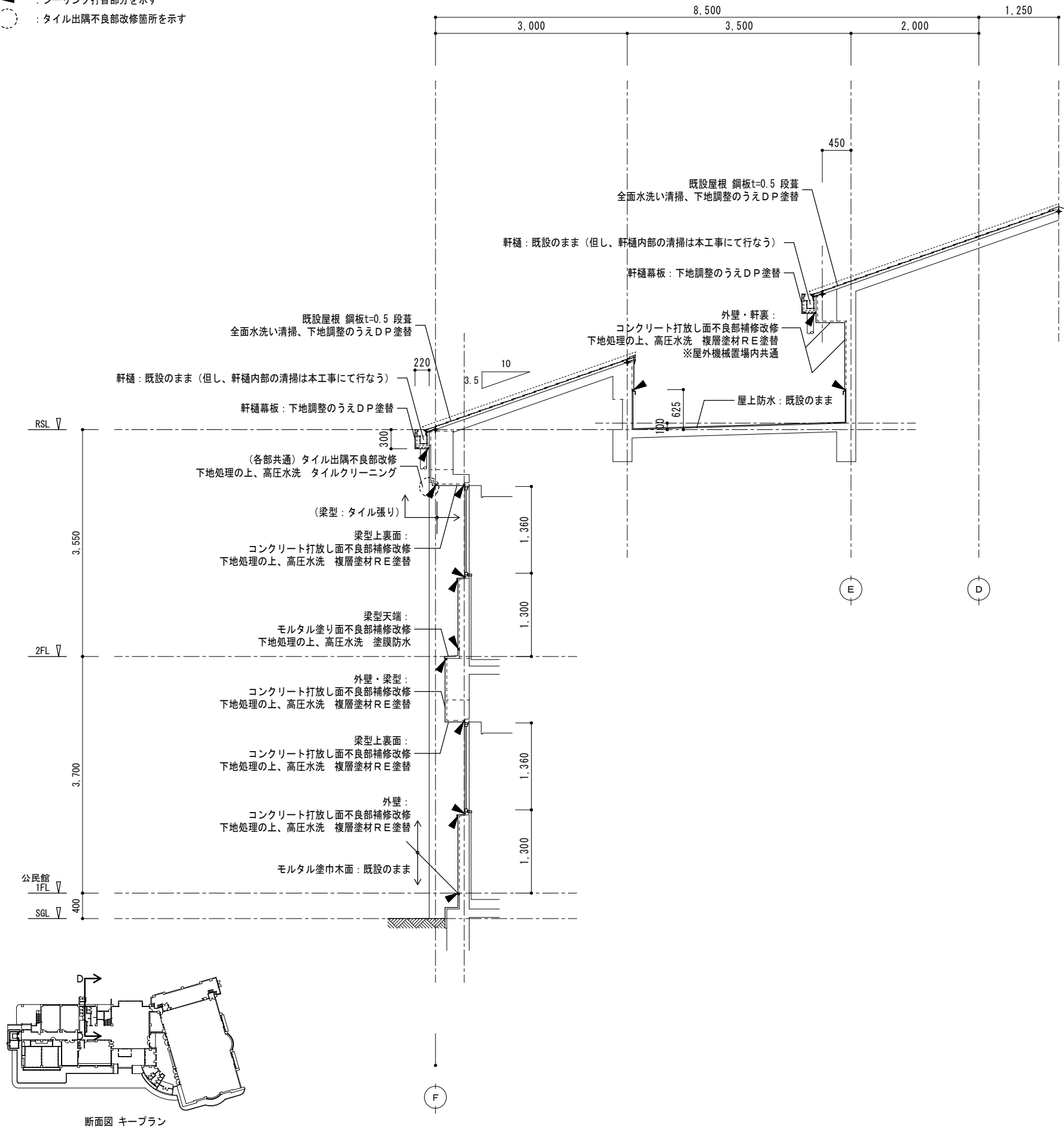
C - C 改修断面詳細図

- ▲ : シーリング打替部分を示す
 ○ : タイル出隅不良部改修箇所を示す



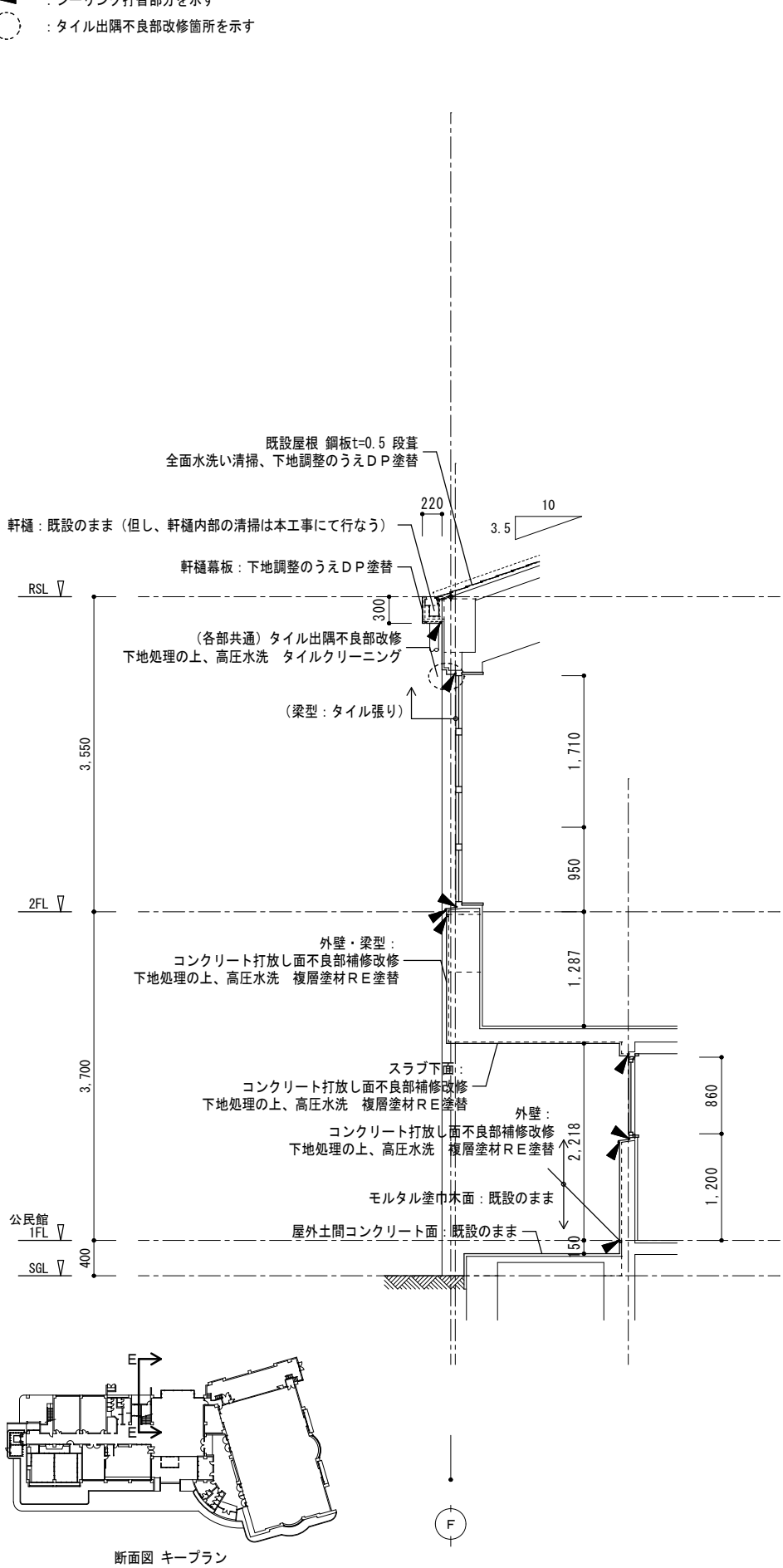
D - D 改修断面詳細図

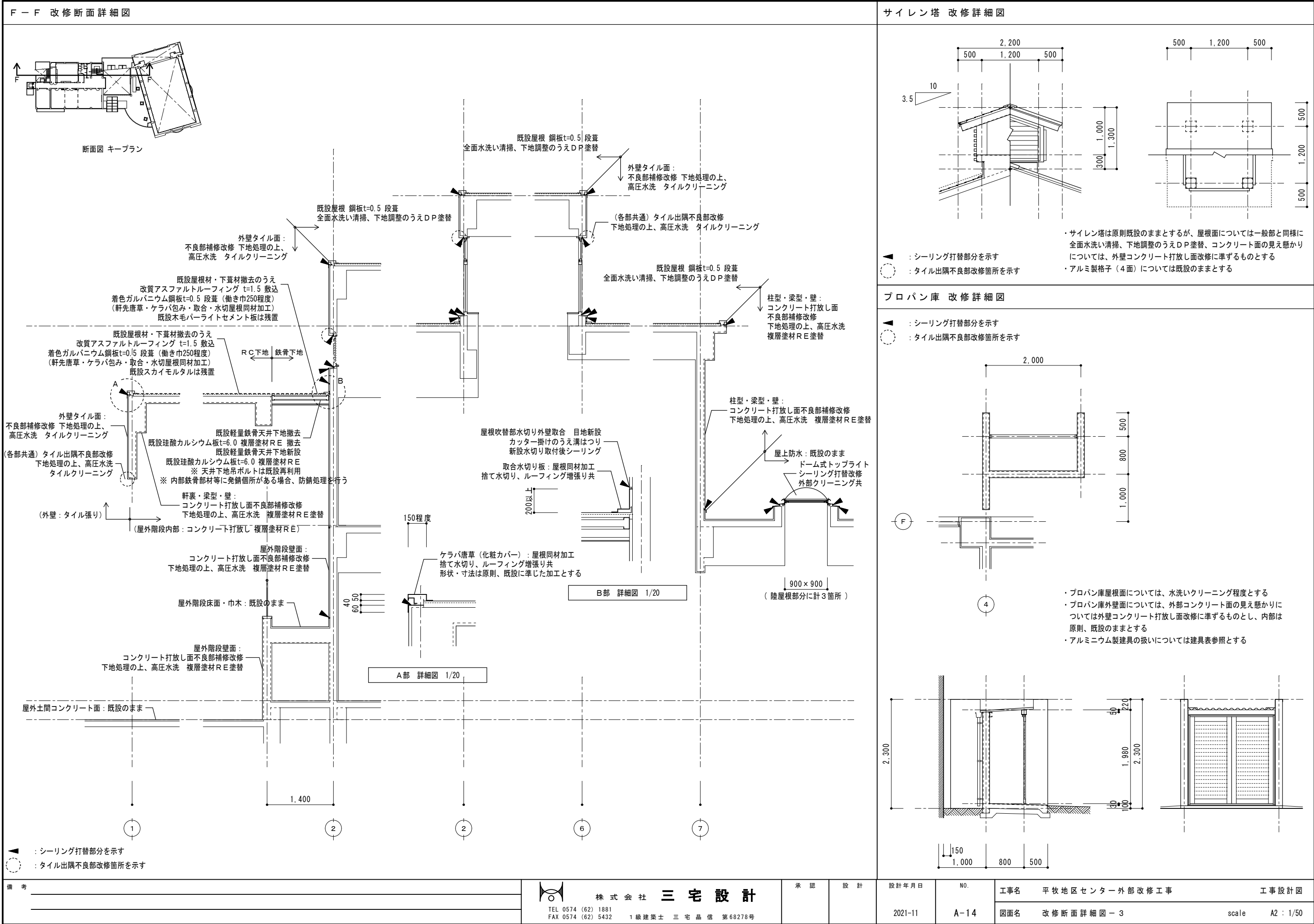
- ▲ : シーリング打替部分を示す
○ : タイル出隅不良部改修箇所を示す



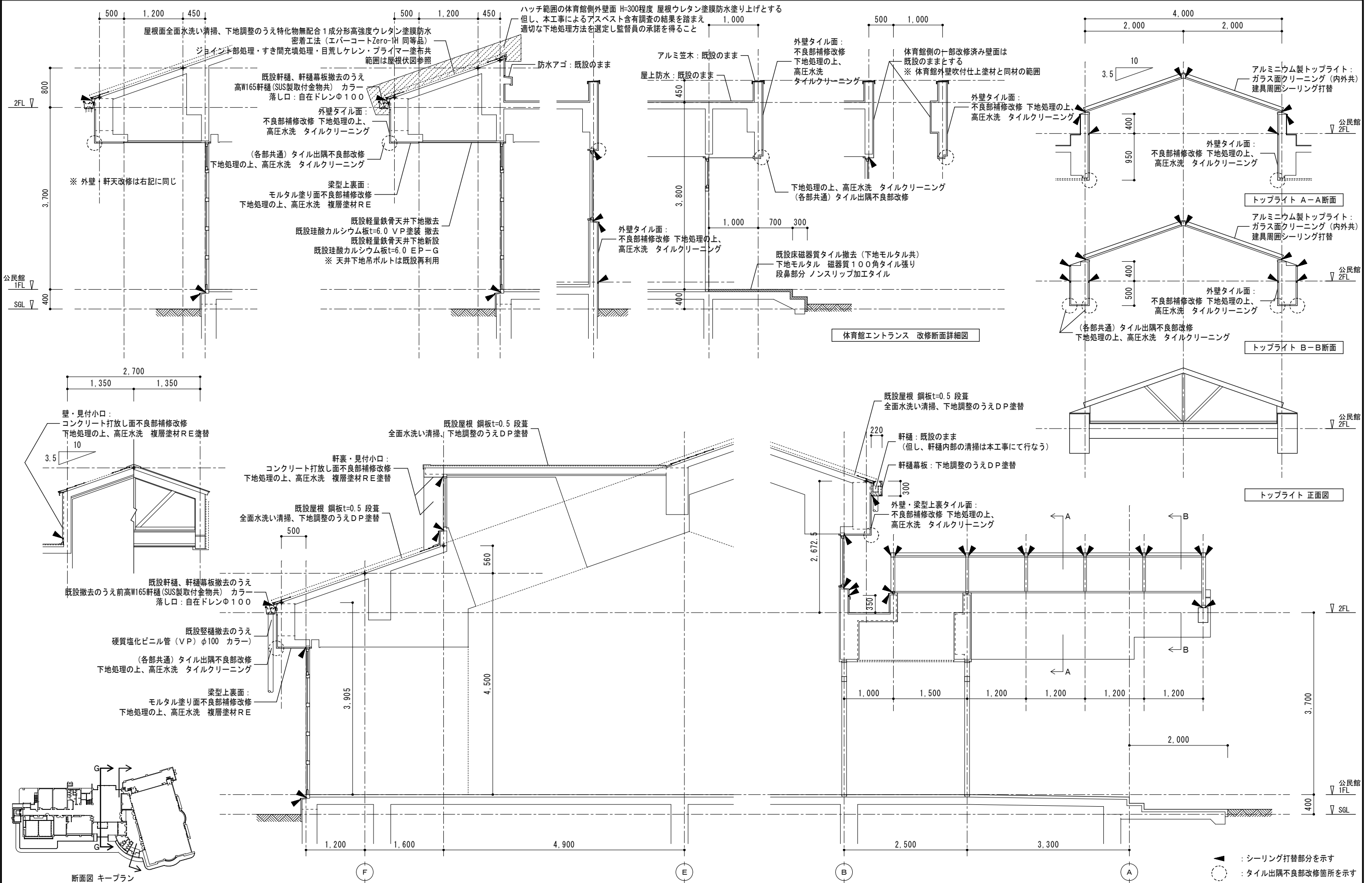
E - E 改修断面詳細図

- ▲ : シーリング打替部分を示す
○ : タイル出隅不良部改修箇所を示す





G - G 断面詳細図



備考

株 式 会 社 三 宅 設 計

TEL 0574 (62) 1881
FAX 0574 (62) 5432 1級建築士 三宅晶信 第68278号

承

設 計

設計年月日

NO.

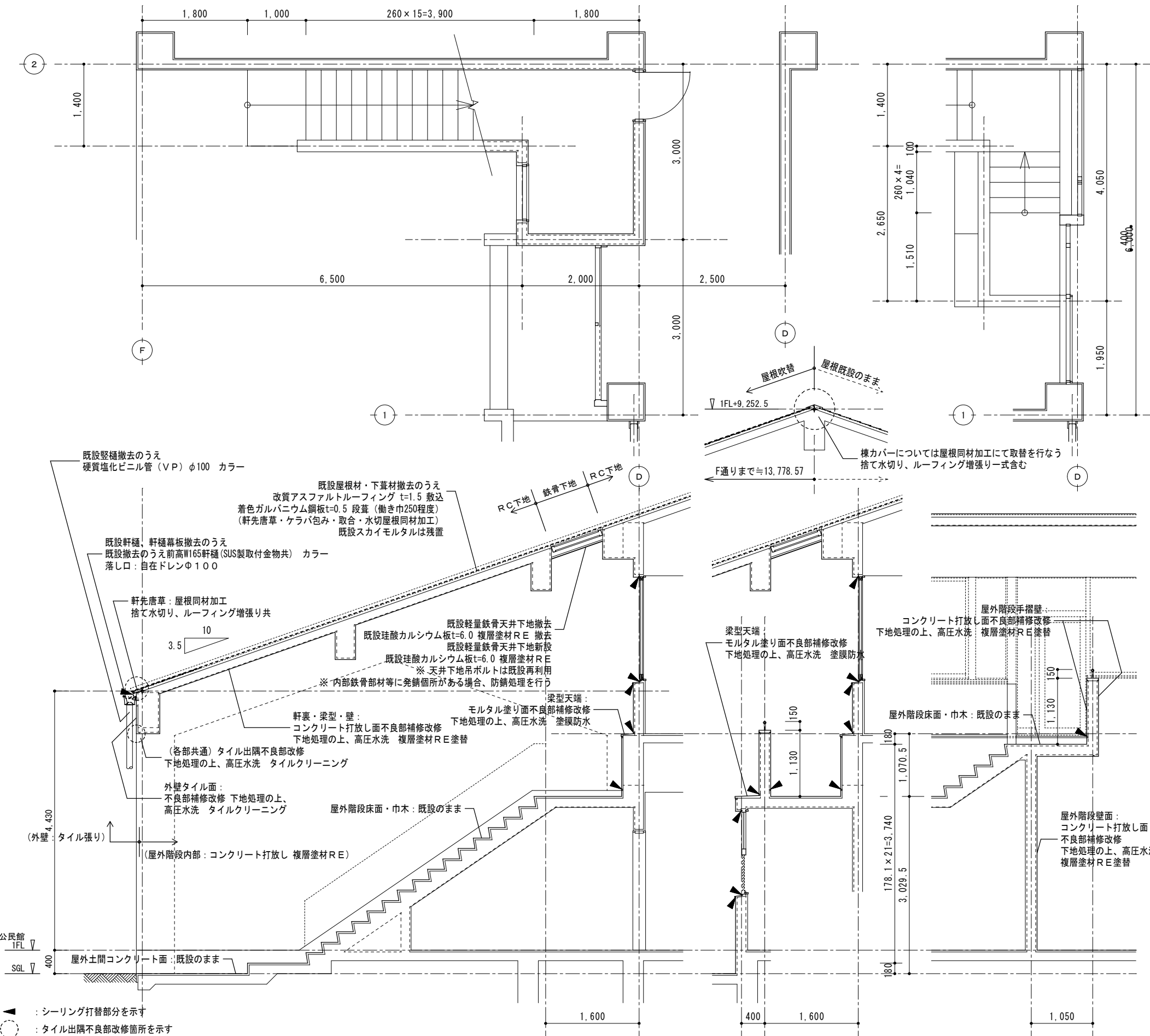
工事名 平牧地区センター外部改修工事

工事設計図

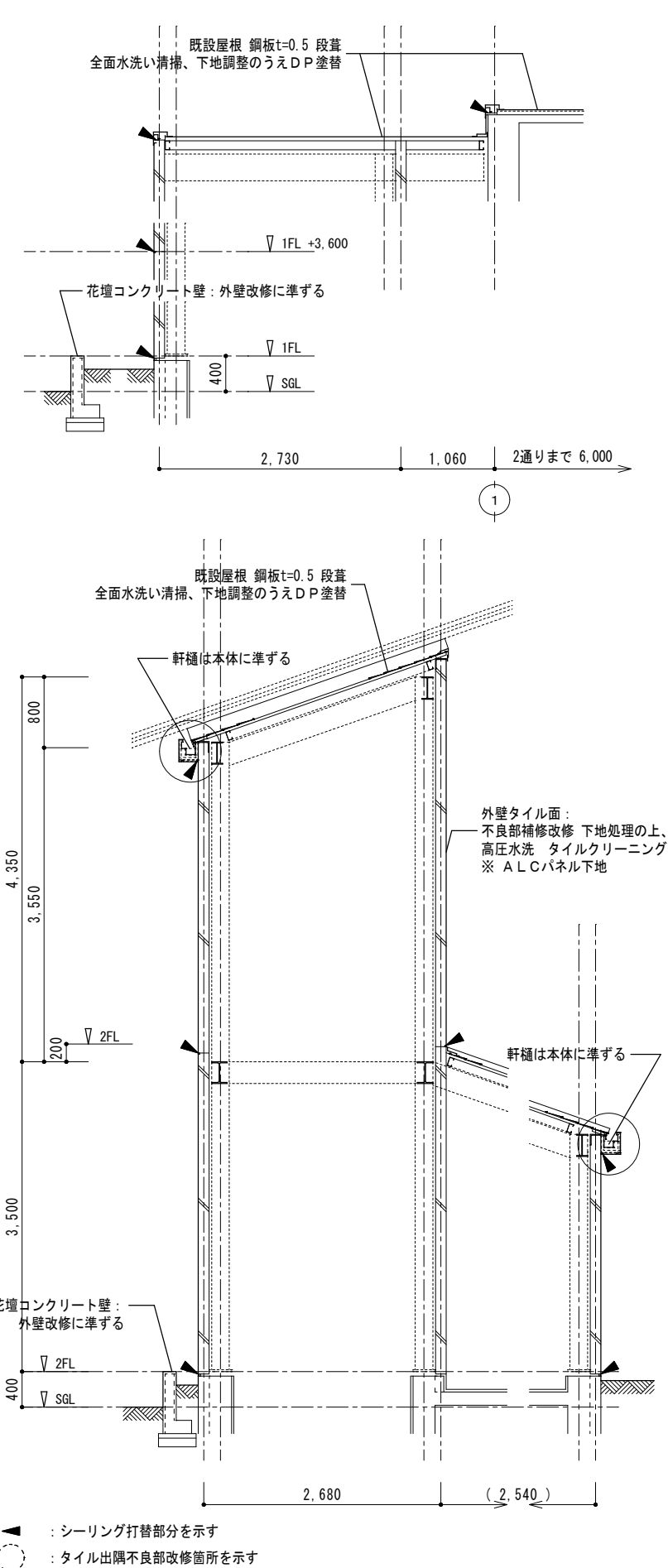
図面名 改修断面詳細図-4

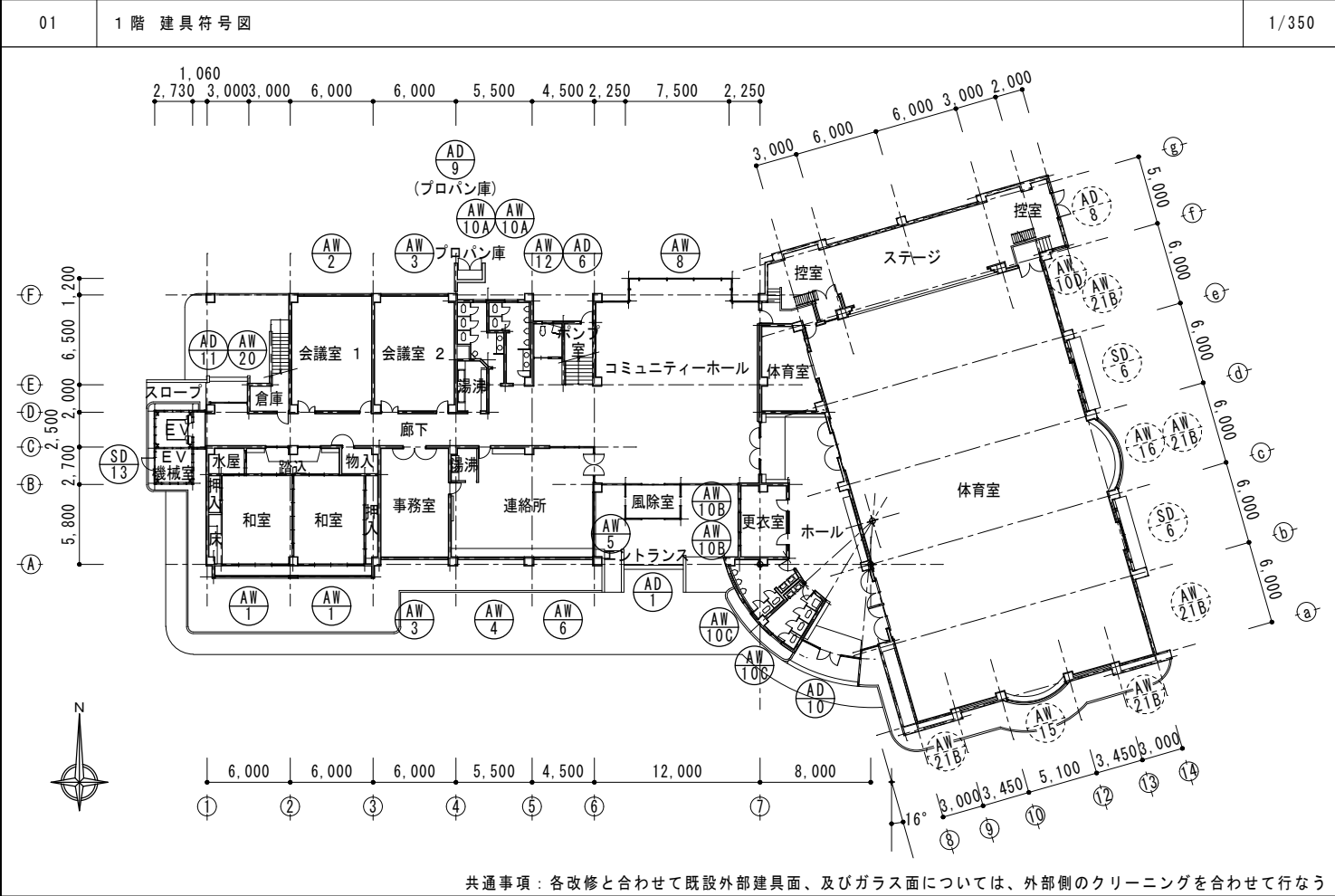
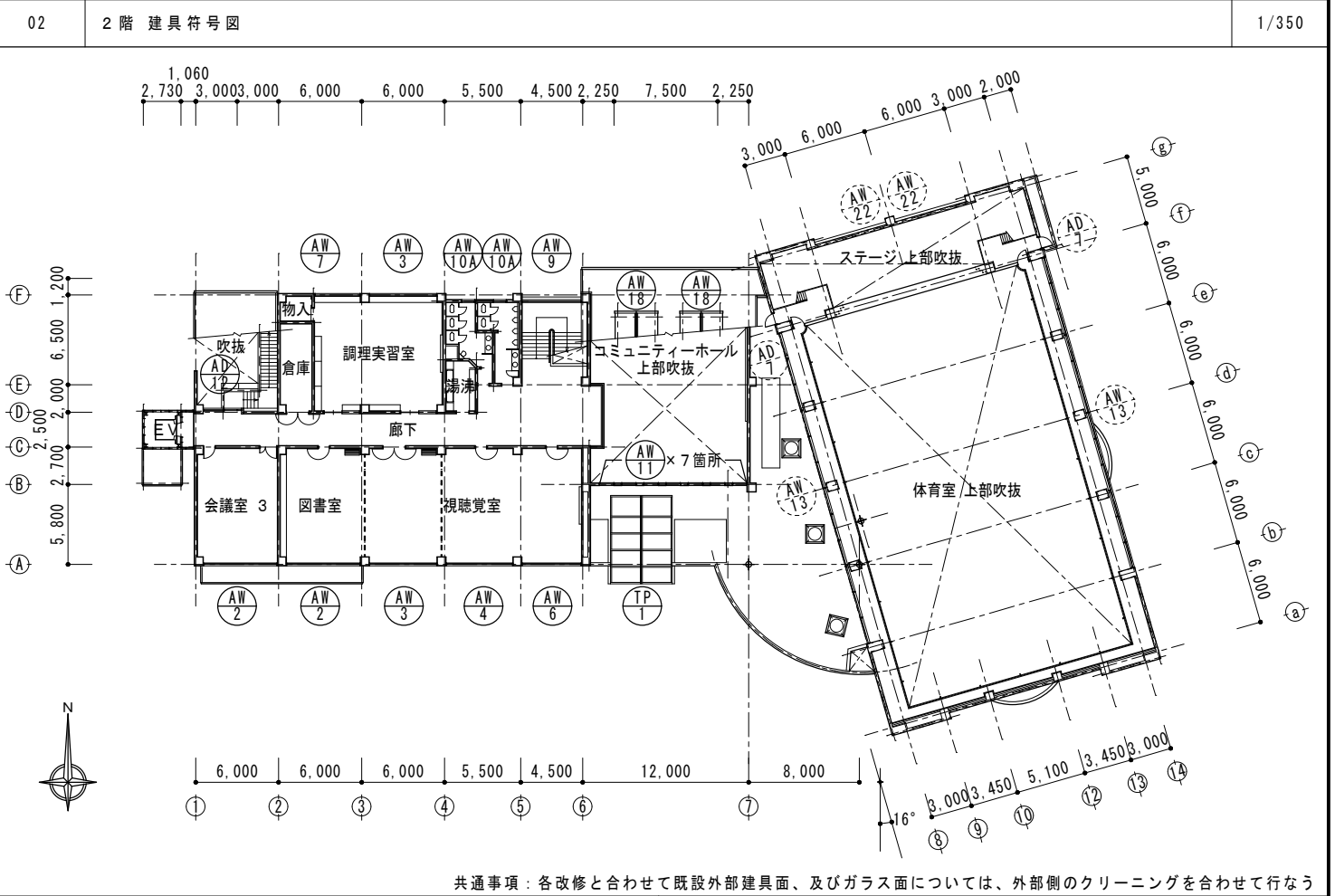
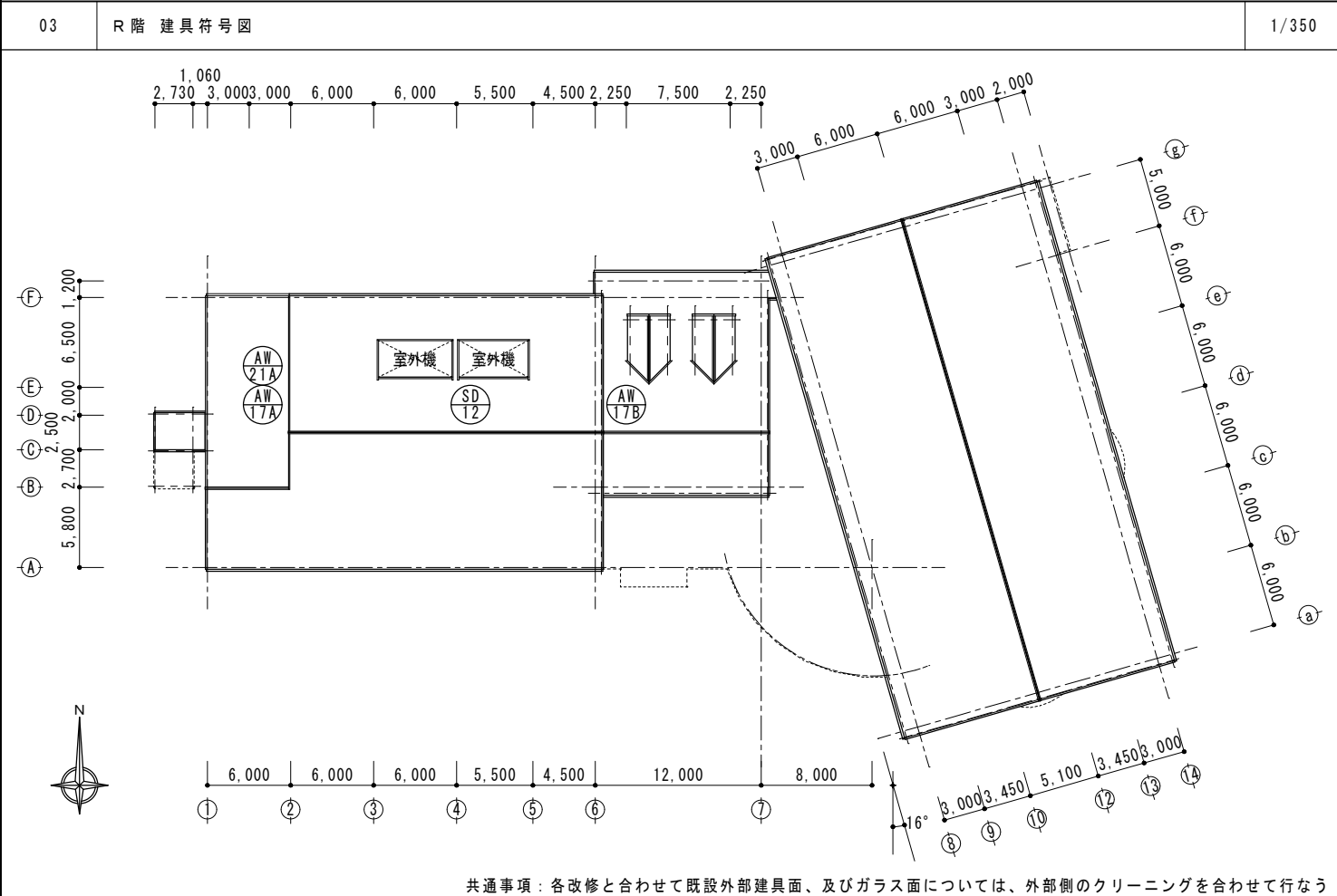
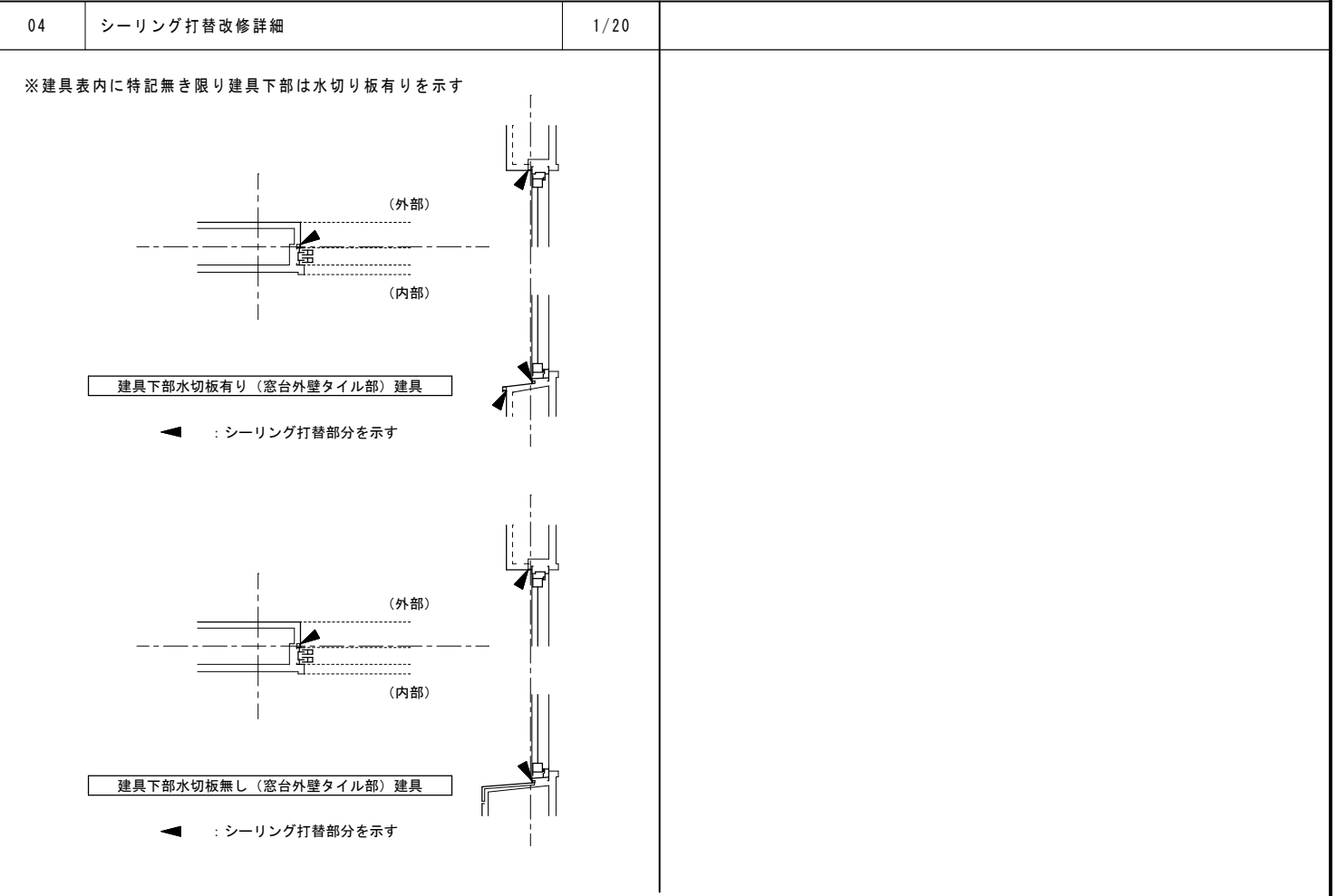
scale A2 : 1/50

屋外階段 改修断面詳細図

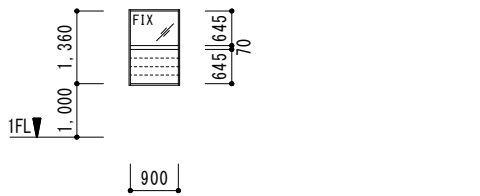
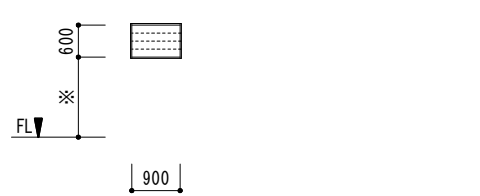
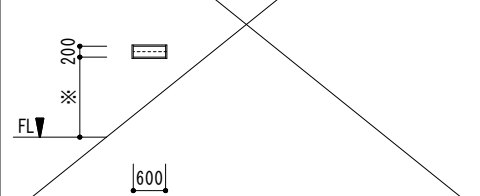
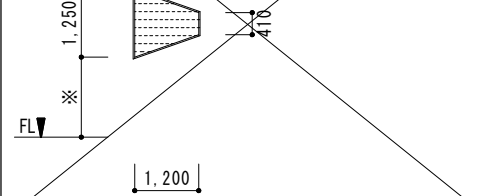
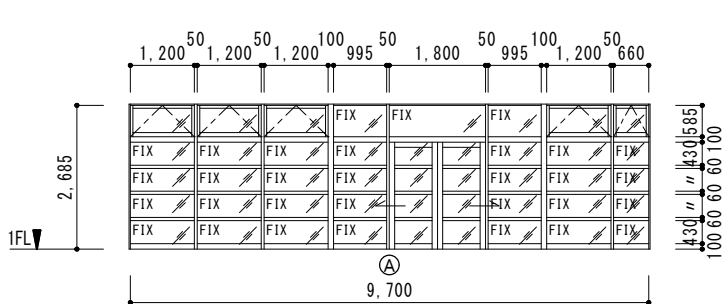
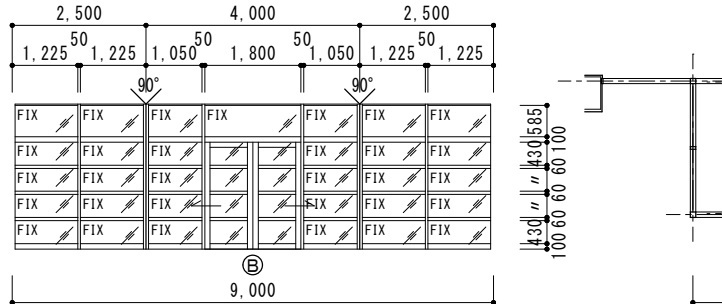
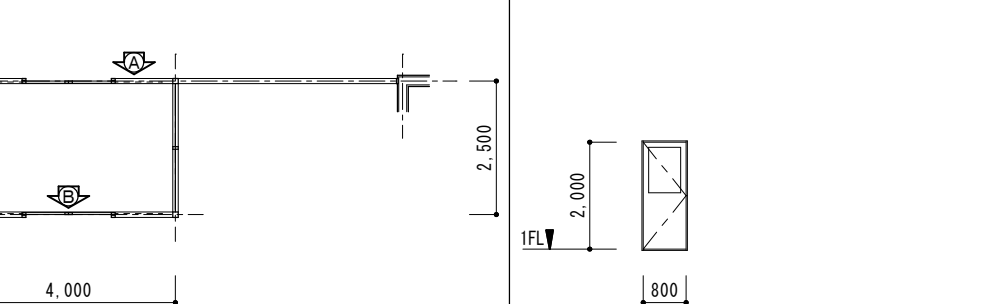
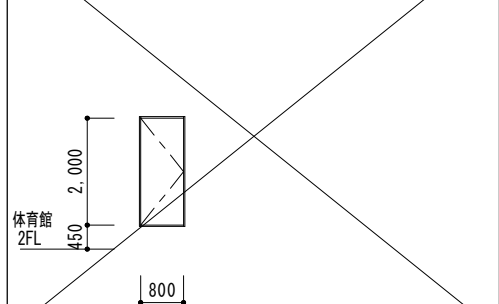
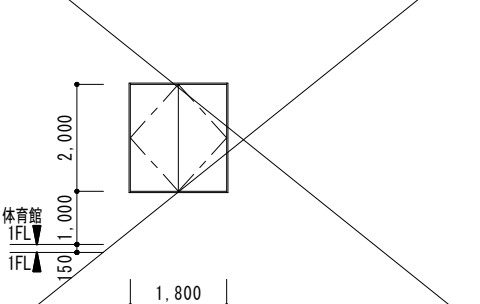
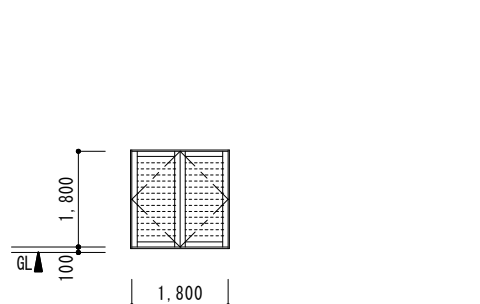
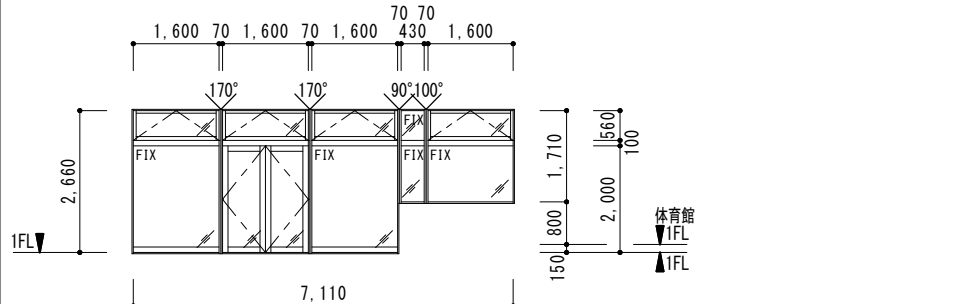
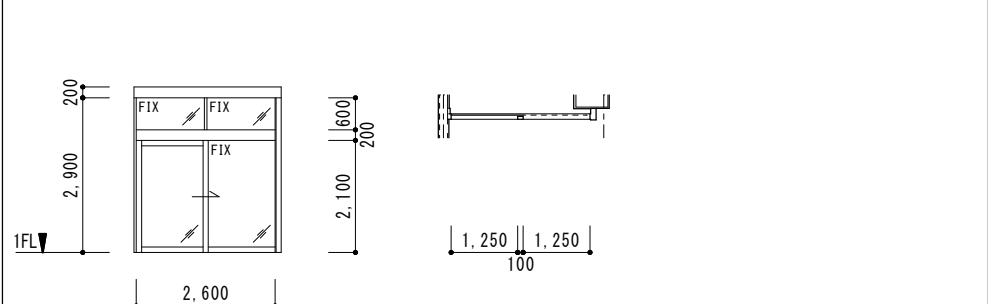
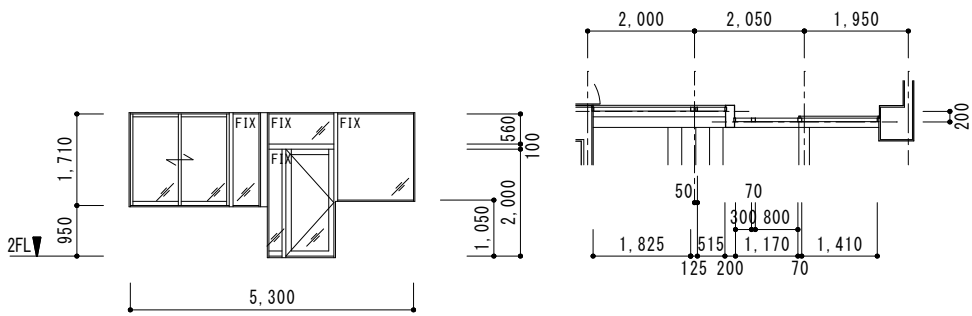
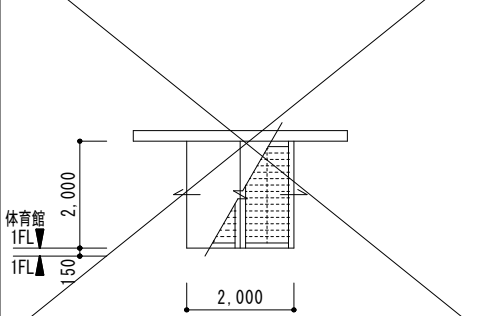
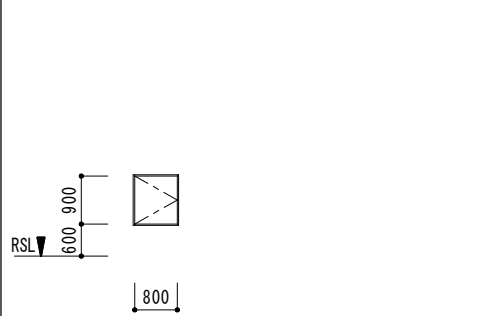
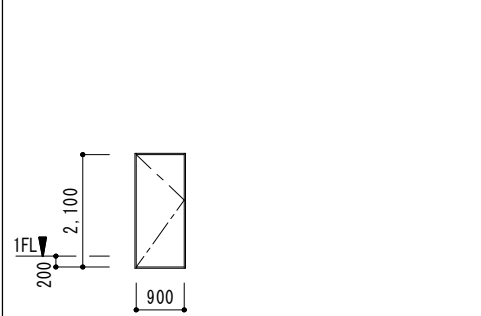
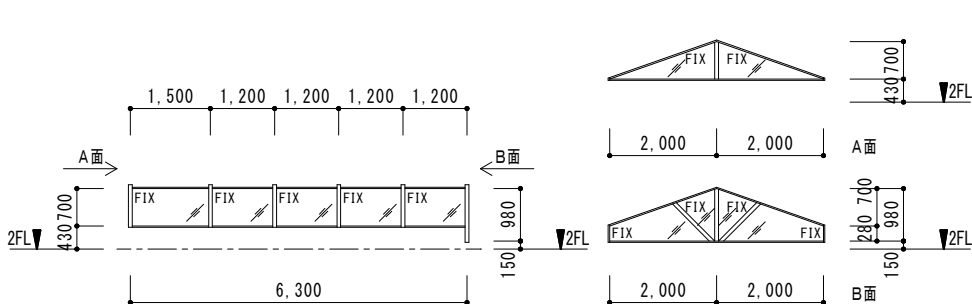


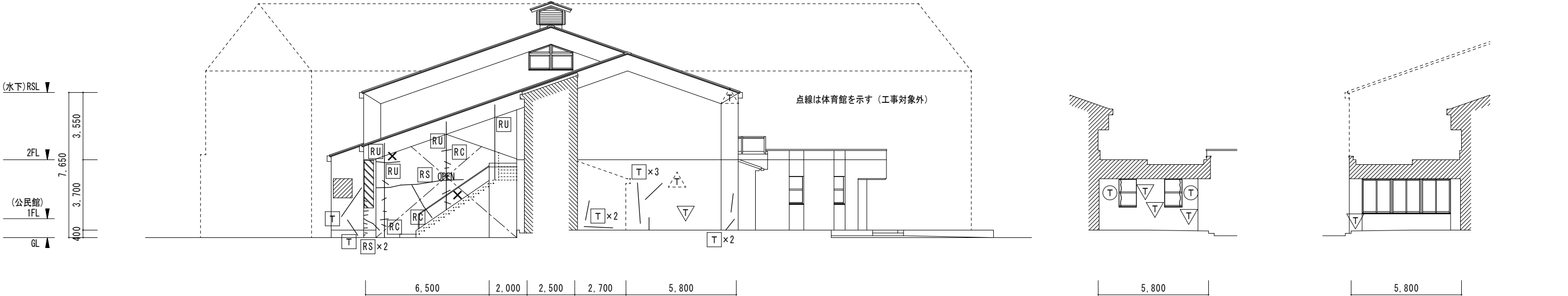
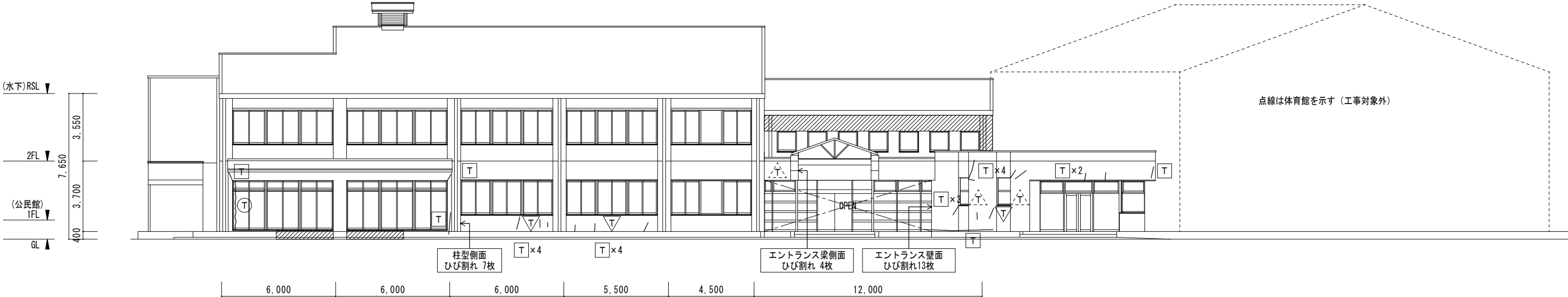
エレベーターシャフト 改修詳細図



01	1階 建具符号図	1/350	02	2階 建具符号図	1/350
					
共通事項：各改修と合わせて既設外部建具面、及びガラス面については、外部側のクリーニングを合わせて行なう			共通事項：各改修と合わせて既設外部建具面、及びガラス面については、外部側のクリーニングを合わせて行なう		
03	R階 建具符号図	1/350	04	シーリング打替改修詳細	1/20
			※建具表内に特記無き限り建具下部は水切り板有りを示す 		
共通事項：各改修と合わせて既設外部建具面、及びガラス面については、外部側のクリーニングを合わせて行なう					
	既設建具（AW・AD・TP） （外部面建具周囲シーリング打替改修）		既設建具（AW・AD・SD） （改修対象外とする）		株式会社 三宅設計
	既設建具（SD） （外部面建具周囲シーリング打替改修 + 仕上塗装塗替）			TEL 0574 (62) 1881 FAX 0574 (62) 5432	1級建築士 三宅 晶 信 第68278号
				承認	設計
				設計年月日	2021-11
				NO.	A-17
	工事名	平牧地区センター外部改修工事			工事設計図
	図面名	建具符号図・シーリング打替改修詳細			scale A2：1/20・350

AW1 アルミニウム製ランマ引違い窓付引違い2段3連窓		(箇所数) 2	AW2 アルミニウム製引違い3連窓		(箇所数) 3	AW3 アルミニウム製引違い3連窓		(箇所数) 4	AW4 アルミニウム製引違い3連窓		(箇所数) 2		
AW5 アルミニウム製引違い3連窓		(箇所数) 1	AW6 アルミニウム製中央嵌め殺し窓付両袖引違い3連窓		(箇所数) 2	AW7 アルミニウム製引違い2連窓		(箇所数) 1	AW8 アルミニウム製カーテンウォール		(箇所数) 1		
AW9 アルミニウム製カーテンウォール		(箇所数) 1	AW10A アルミニウム製内倒し2段窓		(箇所数) 4	AW10B アルミニウム製上げ下げ窓		(箇所数) 2	AW10C アルミニウム製上げ下げ窓		(箇所数) 2		
AW12 アルミニウム製突出し窓			(箇所数) 1	AW13 アルミニウム製カーテンウォール							(箇所数) 2		
AW15 アルミニウム製中央嵌め殺し両片引き窓			(箇所数) 1	AW16 アルミニウム製嵌め殺し2段窓		(箇所数) 1	AW17A アルミニウム製突出し2段2連窓		(箇所数) 1	AW17B アルミニウム製突出し2段3連窓		(箇所数) 1	
備考				三宅設計 TEL 0574 (62) 1881 FAX 0574 (62) 5432 1級建築士 三宅 晶 信 第68278号				承認	設計	設計年月日 2021-11	NO. A-18	工事名 平牧地区センター外部改修工事	工事設計図
											図面名 建具表 - 1	scale A2 : 1/100	

AW 20	アルミニウム製ランマ嵌め殺し窓付固定ガラリ	(箇所数) 1	AW 21A	アルミニウム製固定ガラリ	(箇所数) 1	AW 21B	アルミニウム製固定ガラリ	(箇所数) 5	AW 22	アルミニウム製固定ガラリ	(箇所数) 2			
														
AD 1	アルミニウム製両引き分け自動扉付ガラススクリーン						(箇所数) 1	AD 6	アルミニウム製額付片開きフラッシュ扉	(箇所数) 1	AD 7	アルミニウム製片開きフラッシュ扉	(箇所数) 2	
														
AD 8	アルミニウム製両開きフラッシュ扉	(箇所数) 1	AD 9	アルミニウム製両開きガラリ扉	(箇所数) 1	AD 10	アルミニウム製ランマ嵌め殺し突出し窓付両袖嵌め殺し中央両開き扉扉			(箇所数) 1	AD 11	アルミニウム製ランマ嵌め殺し窓付片引き自動扉扉		(箇所数) 1
														
AD 12	アルミニウム製両袖嵌め殺し窓引違い窓付ランマ嵌め殺し片開き扉扉				(箇所数) 1	SD 6	上吊式鋼製両引き分け2重扉 屋外側:フラッシュ扉 屋内側:防球格子扉	(箇所数) 2	SD 12	鋼製片開きフラッシュ扉	(箇所数) 1	SD 13	鋼製片開きフラッシュ扉	(箇所数) 1
														
TP 1	アルミニウム製トップライト (詳細は改修断面詳細図参照)				(箇所数) 1	下地調整のうえDP塗替								
														
備考						 株式会社 三宅設計 TEL 0574 (62) 1881 FAX 0574 (62) 5432 1級建築士 三宅 晶 信 第68278号		承認	設計	設計年月日 2021-11	N0. A-19	工事名 平牧地区センター外部改修工事	工事設計図	
												図面名 建具表 - 2	scale A2 : 1/100	



■ 注記事項) 以下の表に示す劣化部の数量は、下記 1～3 の調査範囲、調査条件範囲の数量であり、以下の数量をもとに算出した本工事に補修の施工対象とする設計数量は、設計図面の立面図－2 (A－1 1) の表に示す数量とする

1. タイル張り面調査範囲は、地上から打診による調査が可能な範囲を対象とする (約 1 4 5㎡程度)

2. モルタル面調査範囲は、地上から目視による確認範囲を対象とする (約 1 0㎡程度)

3. コンクリート打放し面調査範囲は、地上から目視による確認範囲を対象とする (約 2 6 0㎡程度)

■ タイル張り面劣化部		
符号	内容	数量
	タイル浮き	29.5 ㎡
	タイル陶片浮き	0.3 ㎡
	タイル欠損・汚損 (白華部含む)	0.7 ㎡
	タイルひび割れ	1.7 ㎡
■ 共通事項		
1. コーナー出隅部分については、全体の5%程度に浮き等の不良部が発生		

■ モルタル面劣化部		
符号	内容	数量
	モルタル面浮き	9.9 ㎡
■ 共通事項		
1. クラックについては、1㎡あたり [MC] が約0.2m程度、[MS] が0.3m程度発生		
2. [MU] については目地部に一部発生		

■ コンクリート打放し面劣化部		
符号	内容	数量
	R C 打放し面クラック (幅1.0mm超)	20.5 m
	R C 打放し面クラック (幅0.2～1.0mm)	44.0 m
	R C 打放し面クラック (幅0.2mm未満)	44.4 m
■ 共通事項		
1. 軒天部分については、1㎡あたり [RC] が約0.2m程度、[RS] が0.3m程度発生		

■ 欠損・爆裂部		
符号	内容	数量
	欠損・爆裂 (100 x 100程度)	1 箇所
	欠損・爆裂 (50 x 50程度)	5 箇所
■ 共通事項		

